

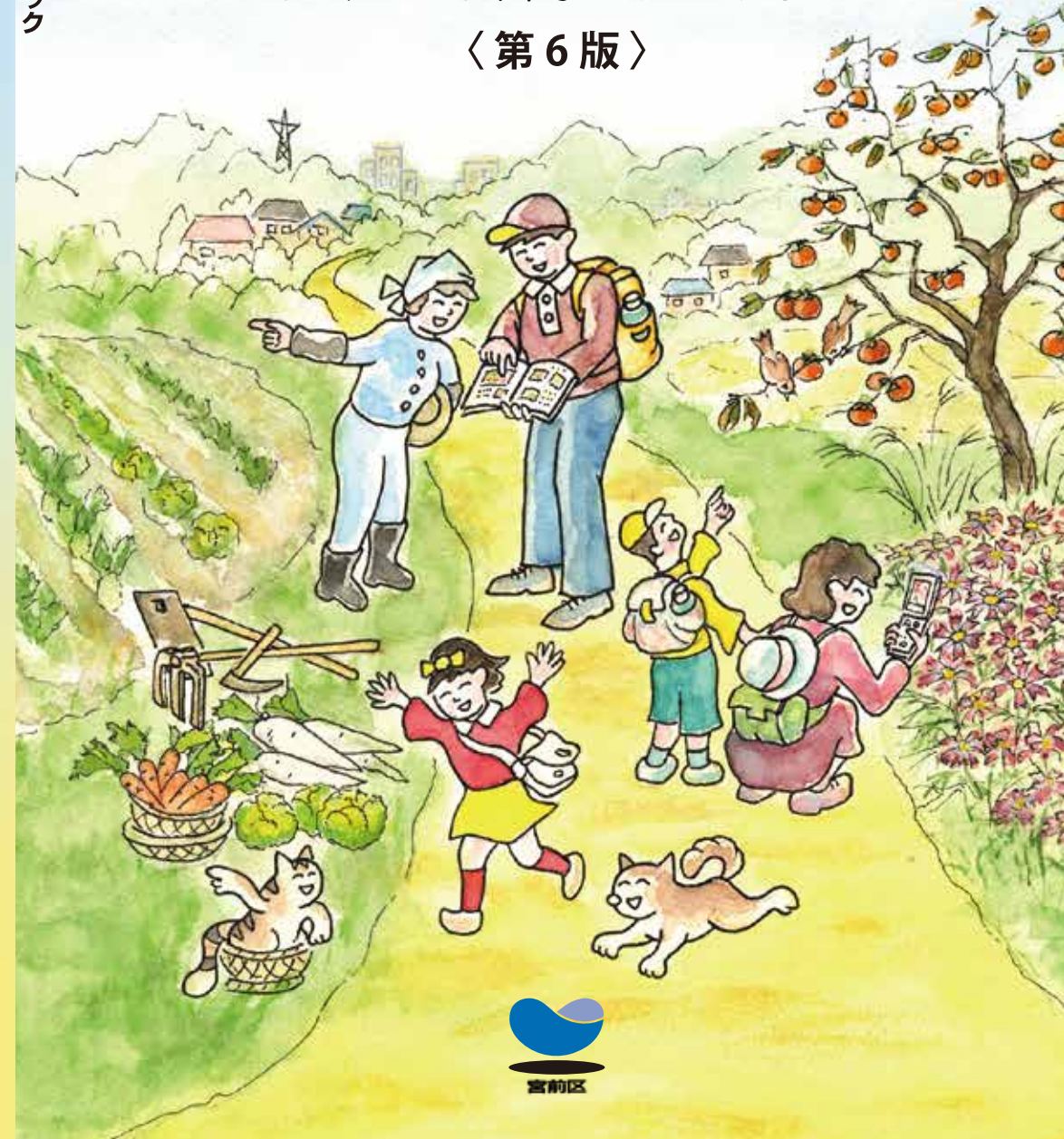
宮前区ガイドブック

ガイドブック片手に出かけよう

〈第6版〉



人が好き・緑が好き・まちが好き





全区

- P2-3 宮前区全体地図
- P4-5 宮前区について
- P6-7 歴史のあるまち宮前
- P8-9 宮前区の民俗芸能
初山の獅子舞(しまい)、福宜舞(わぎま
い)、野川獅子、土橋万作獅子、有馬獅子、
有馬大正獅子八木節、白幡八幡大神平囃
子連中
- P9 地名の由来
- P10 宮前区の坂道
二つの八幡坂(土橋の八幡坂、有馬の八
幡坂)、時代に翻弄された庚申坂、坂の
今、昔 小台坂
- P11 宮前区の街道
鎌倉街道、大山街道、王禅寺道
- P12 宮前区の川
平瀬川、矢上川、有馬川
- P13 宮前区の谷戸(やと)
飛森谷戸(とんもりやと)、鶴ヶ谷(つるが
やと)、鷺沼谷(さぎぬまやと)、権六谷戸
(ごんろくやと)、【コラム】谷戸の語源
- P14-15 宮前区のイベント
響け! みやまえ太鼓ミーティング、
しあわせを呼ぶコンサート、宮前区民祭
- P16-19 宮前区の春夏秋冬
- P20 数字で見る宮前区
- P54 【コラム】みやまえカルタ
【コラム】宮前区の講
(大山講、御嶽講)
- P71 【コラム】宮前区内にある石造物
の豆知識
- P72 川崎、宮前の農産物
かわさきそだち
- P73 連絡先
ふれあいネット、サンキューコール
- P74-77 索引
- P78-79 バス路線図
- P80 区のシンボルマーク、区の木・
区の花、区のキャッチフレーズ、
宮前区誕生30周年記念ロゴ
マーク・キャラクター
- P81 編集後記



菅生・平エリア

- P21 菅生・平エリア
～水と緑の里～
- P22-23 菅生・平エリア地図、歳時記
- P24-25 公園
①菅生緑地(市民健康の森)東地区・西
地区(水沢の森)②生田緑地③生田緑地
南遊園④菅生ヶ丘特別緑地⑤西長沢公
園⑥鷺ヶ峰子供の里公園⑦鷺ヶ峰けやき
公園⑧平4丁目公園⑨宮前美しの森公園
- P26-28 自然
⑩尻手黒川道路の並木道(ナンキンハ
ゼの並木道)(ユリノキ並木と遊歩道)
⑪けやき平のケヤキ並木⑫おし沼緑の
ケヤキ並木⑬南平のイチヨウ並木⑭秋月院
の樹木⑮初山田地の八重桜⑯平瀬川上
流域のサクラ⑰菊王庵の咲き分けツバキ
⑱平のケヤキ⑲白幡八幡大神のクスノキ
⑳妙楽寺のアジサイ(多摩区)㉑水生植
物観賞池㉒西長沢浄水場
- P28-30 神社・仏閣
㉓等覚院㉔妙楽寺(多摩区)㉕白幡八
幡大神⑳八雲神社(天王社)㉖菅生神社
㉗犬蔵天神社㉘本蓮寺㉙長安寺㉚秋月院
㉛東泉寺㉜薬王庵
- P31-32 まちのスポット
㉝川崎市中央卸売市場北部市場㉞川崎
市消防訓練センター㉟宮前スポーツセ
ンター㊱ヨネッティ―王禅寺(麻生区)
㊲聖マリアンナ医科大学病院㊳菅生こ
ども文化センター㊴宮前市民館菅生分館
㊵東名トンネルアート㊶浄水場通りの子
ども大壁面㊷コミュニケーション・プラザ
川崎
- P33 伝承
菅生太鼓連、初山十王堂
五所塚と権児の松
- P34-36 お散歩コース
市境西コース P34
①平瀬川沿いコース/
②とんもり・生田緑地コース P35
犬蔵・土橋コース P36



鷺沼・宮崎エリア

- P37 鷺沼・宮崎エリア
～人と緑のまち～
- P38-39 鷺沼・宮崎エリア地図、歳時記
- P40 東急田園都市線3駅
宮崎台駅、宮前駅、鷺沼駅
- P41 カッパークルミ
(鷺沼ブルー今昔)
- P42-43 公園
①県立東高根森林公園②神木公園③宮
崎第1公園④宮崎第4公園⑤土橋1丁
目公園⑥土橋2丁目公園⑦鷺沼北公園
⑧鷺沼公園⑨小台公園
- P44-45 自然
⑩サクラ並木⑪イチヨウ並木⑫ユリノキ
並木⑬ナンキンハゼ並木⑭東名川崎IC
付近の花壇⑮小台のイロハカエデ⑯泉
福寺のイチヨウ⑰泉福寺のサルスベリ
- P45-47 神社・仏閣
⑱泉福寺⑲馬絹神社⑳八幡神社㉑土橋
神社㉒正福寺㉓千手堂㉔神木天満宮
- P47-49 まちのスポット
㉕フロントウイングさぎぬま㉖電車とバスの
博物館㉗宮前市民館㉘宮前図書館㉙宮
崎小の壁面アート㉚三又の庚申様㉛馬
絹古墳㉜宮崎大塚㉝お化け灯籠㉞川崎
市青少年の家㉟宮前老人福祉センター
㊱ファーマーズマーケットセラサモ宮
前店㊲まじわる宮前
- P50-53 お散歩コース
大山街道コース P50-51
馬絹コース P52
長尾・神木コース P53



有馬・野川エリア

- P55 有馬・野川エリア
～歴史と緑の里～
- P56-57 有馬・野川エリア地図、歳時記
- P58-59 公園
①有馬ふるさと公園②有馬中央公園
③有馬こども公園④有馬さくら公園⑤南
野川ふれあいの森⑥野川ふれあいの森
- P59-62 自然
⑦影向寺のイチヨウ⑧影向寺のサルス
ベリ⑨東有馬2丁目のカキ⑩野川 梅の里
⑪下有馬不動尊周辺のウメ⑫有馬さくら
公園のサクラ⑬東有馬のハナミズキ⑭つ
げ・もみじの里⑮野川のケヤキとトチノキ
の並木⑯有馬のトウカエデ並木⑰中有馬
のユリノキ並木
- P63-65 神社・仏閣
⑱影向寺(ようごうじ)⑲能満寺(高津
区)⑳野川神明社(韋駄天社)㉑西蔵寺
㉒長善寺㉓下有馬不動尊㉔有馬神明神
社㉕福王寺
- P66-67 まちのスポット
㉖JR槻ヶ谷貨物ターミナル駅㉗JR槻ヶ
谷貨物ターミナル駅下のトンネルアート
㉘子育て地蔵㉙十三坊塚㉚有馬大塚
㉛アリーノ(有馬・野川生涯学習支援施設)
㉜富山スポーツプラザ㉝宮前休日急患診
療所
- P68-71 お散歩コース
峯道(みわみち)・有馬南コース P68
有馬北コース P69
たちはなの里・野川コース P70-71



宮前区全体地図



ガイドブックや マップを片手に まちへ出よう!

区役所では、さまざまなマップを発行しています。
季節ごとによりゆく宮前区を散策してみませんか!
区役所・出張所などで配布中。HPでも。

*薄紫色の坂は、区が愛称を募集した坂

宮前区について

宮前区は昭和57(1982)年7月、高津区から分かれて誕生し、川崎市では一番新しい区。平成24(2012)年に30周年を迎えた。人口は約23万人(平成30年1月現在)。面積は18.6km²、川崎市では4番目の広さで、東京都の新宿区とほぼ同じ大きさの区である。

川崎市北西部のなだらかな丘が続く多摩丘陵の東の端に位置する。区の北は多摩区・高津区、東は高津区、西は麻生区、そして南は横浜市都筑区・青葉区に接している。区の西端、潮見台あたりが区内で一番標高が高く106m、昔はそこから横浜方面の海が見えたという。

区内には3つの川が西から東に流れている。一番北を流れる平瀬川は水沢地区を源流とし、菅生・平を流れて多摩川に合流する。区内の中心部を流れる矢上川は犬蔵周辺を源流とし、尻手黒川道路沿いに馬絹・野川を流れ、日吉で鶴見川に合流する。一番南を流れる有馬川は鷺沼4丁目(鷺沼谷・さぎぬまやと)周辺を源流とし、有馬を流れ、高津区千年の五反田橋で矢上川と合流する。



緑ゆたかを平瀬川上流

これらの川に挟まれて、宮前区は丘陵や坂、谷戸(やと)などで構成された起伏に富んだ地域であり、「台・沢・川・沼」、またそれらに栽培された稗(ひえ)、自生する菅(すげ)、あるいは放牧されていた馬などの付いた地名がある。

ベッドタウンとしてのまち宮前

宮前区は東京都心から30km圏内にあることから住宅向けに土地区画整理事業が進められ、東急田園都市線3駅・東名高速川崎インターチェンジ・第3京浜道路などの交通の利便性とあいまって、東京のベッドタウンとしての役割を果たしている。宮前区の夜間人口に対する昼間人口の比率は約73%で、市の他区より一段と低く(川崎市全体平均は約88%)ベッドタウンとしての性格がうかがえる。

子どもが多いまち宮前



冒険あそび場づくりの活動

宮前区住民の平均年齢は43.8歳(平成29年)、7区の中で4番目の高さである。しかし年少人口(0歳～14歳)は13.7%(平成29年)と、子どもたちの割合は川崎市の中で最も高い区である。休日などには、小さな子どもの手を引く家族の姿をよく見かける。また子育てグループ活動が活発で、公園、こども文化センター、宮前市民館、地域子育て支援センターを拠点として活動している。

「子育てガイドとここどこ」は、子育て情報が満載で、子育てを支援することを目的に、現役ママや地域の方々、子育て関係機関と一緒に区民協働で作られた。区役所などで入手できる。



子育てガイドとここどこ

公園や緑の多いまち宮前

多摩丘陵の姿を生かした「県立東高根森林公園」や里山を残した「水沢の森(菅生緑地・西地区)」をはじめ区内には214箇所(平成29年3月)の公園緑地がある。これは麻生区に続いて市内で2番目に多い。また野菜や植木の生産緑地も多く(宮前区は川崎市内で生産緑地面積第1位。第2位は多摩区)、直売所を通して地元農家が栽培した新鮮な野菜を手に入れることもできる。なお「農産物直売所 Guide & Map」が宮前区まちづくり協議会から発行されている。区役所などで入手できる。

生産緑地のブロックリー想



平成23年から区民会議の提案を受け、区内の公園で冒険あそび場開催を推進している。テニスや野球ができる公園(要予約)や定期的に体操を開催している公園もあり、子どもだけではなく大人も楽しむことができる。



公園体操を行う人たち

坂のまち宮前

宮前区は谷戸や坂が多く、富士見坂など区民公募で愛称が付けられた坂だけでも18箇所、八幡坂など昔から名が付いている坂を含めて「宮前歴史ガイド(宮前区歴史文化調査委員会発行)」には38箇所の坂が記されている。

坂は歩くのが大変だが、景観に変化を与え、見晴らしの良い所も多い。また坂道をウォーキングすることで筋力向上や健康増進に繋

(つな)げることができる。これらの坂をもっと楽しもうと、平成24年度には区から「みやまえ坂道ウォーク」が発行された。



市民活動が盛んなまち宮前

川崎市の中でも宮前区は市民活動が盛んなところで、イベント・自然保護・環境美化・福祉・子育て・防災など幅広い分野で活動している。平成9年、区民・企業・行政などからなる委員会により「宮前区区づくりプラン」が策定され、引き続きそのプラン実現のため区づくりプラン推進委員会を設立。平成17年には宮前区まちづくり協議会となり、まちづくり活動の支援を行っている。

宮前区役所1階に設けられた「区民活動支援コーナー」は川崎市でも最も早く区民活動の拠点として開設され、さらに向丘出張所、ふれあいスペース宮前、アリーノ(有馬・野川生涯学習支援施設)などが活動拠点として利用されている。宮前区まちづくり協議会発行の「宮前区市民活動応援マップ」には、区内にある市民活動団体が利用できる32施設が詳しく掲載されている。また、区内152の市民団体の活動を紹介する冊子「みやまえ市民活動のなかま」も作られ、区役所地域振興課で入手できる。



区民活動支援コーナー

歴史のあるまち宮前

太古の遺跡

区内には、川崎市で最古の石器が出土された鷺ヶ峰遺跡(旧石器時代、約3万年前)や菅生水沢遺跡・菅生遺跡(縄文時代、約1万年前)、鷺沼遺跡(縄文時代、約5000年前)のほか、多くの遺跡が見つかっており、大昔から人々の営みが行われていた。

高津区の久本・末長・新作・千年・子母口などに貝塚があることから6000年ほど前には地球温暖化が進み、満ちあるいは野川あたりまで海が入り込んでいたと考えられている。鷺沼遺跡では釣りのオモリやウキ、タイの骨などが出土している。野川まで釣りに出かけていたのであろうか。



鷺沼遺跡

古代

7世紀になり大和政権のもと国・郡・郷の行政区画が整備されて、この地域は武蔵国橘樹(たちばな)郡に属した。武蔵国の国府は府中に置かれ、橘樹郡の役所である郡衙(ぐんが)は、高津区千年伊勢山台に置かれたと推定されている。この橘樹郡衙跡と、すぐ西側に隣接する古代寺院跡「影向寺遺跡」(野川)は、「橘樹官衙(かんが)遺跡群」として、平成27年3月、川崎市初の国史跡の指定を受けている。

また区内では馬絹古墳をはじめとしていくつが古墳も見つかっている。7世紀後半、当時の在地豪族あるいは首長の墓と推定される。

中世

鎌倉時代になると、多摩丘陵は幕府にとって北の守りを固める重要な地域となり、生田緑地の枳形山には稲毛三郎重成により城が

築かれた。稲毛三郎は北条政子の妹を妻に迎え、源頼朝の重臣であった人である。そのためもあってか、区内には土橋の村名や茶苑(ちゃせん)松・鞍掛松など、源頼朝に関連する伝承の場所や、平の白幡八幡大神など源氏ゆかりの地が多い。鎌倉と関東近郊を結ぶ鎌倉古道も、いく筋か区内に残っている。

江戸時代の村々

江戸時代、宮前区の地域は橘樹郡稲毛領に含まれ、文化・文政の頃、幕府により編さんされた「新編武蔵風土記稿」によると、野川・有間・梶ヶ谷(一部)・馬絹・土橋・長尾(一部)・平・下菅生・天真寺新田の村々に分かれていた。川沿いの低地には水田が開かれていたが、丘陵地は畑や竹林・雑木林で炭なども焼かれて江戸に運ばれていた。村には名主がいて、村の中心には幕府が決めた法度や掟(おきて)を知らせる高札場が設けられていた。

東海道の脇往還として、野川村を通る中原街道や馬絹・土橋・有馬の諸村を通る矢倉沢往還が整備され、人馬の通行も増えてきた。矢倉沢往還は、煙草・鮎・炭・木綿・干し魚などを相模・駿河・伊豆方面から江戸に運ぶ輸送路としても重要な道路であった。矢倉沢往還は大山道とも呼ばれ、大山に詣でる人たちでも賑わった。

明治から大正にかけて

明治5(1872)年に学制が施行されるとともに、向丘小学校の前身である化育(かいく)学舎が創立された。引き続き明治6年から10年にかけて、盛隆(せいりゅう)学舎(野川)、現在の宮崎小学校の前身である鳴鶴(めいかく)学校(馬絹・有馬・土橋)、化育・経緯(けいりん)学校(長尾・平)、初山学舎(菅生)などが相次いで開かれ、教育制度が整ってきた。明治22(1889)年に市制・町村制が施行され、梶ヶ谷・野川・馬絹・有馬・土橋の各村と満口村の飛地が合併された宮前(みやさき)村と、平・長尾・菅生・上作延の各村と下作延の飛地が合併された向丘(むかおか)

村の2村となり、従来の村は大字となった。大正13(1924)年に川崎市が誕生したが、宮前村と向丘村が川崎市に編入されたのは昭和13(1938)年になってからである。

大正2(1913)年には、大山街道の二子から荏田の間に繞つきの馬車が走るようになり、また大正12年に有馬の村道を乗合自動車が行き、村の交通も少しずつ便利になってきた。

戦争の足音

昭和15(1940)年頃から、旧陸軍は演習場を設けるために用地の接収をはじめた。宮崎・神木・鷺沼あたりを含む現宮前区の約3分の1にあたる地域を軍用地とし、陸軍東部62部隊の本部や兵舎が現在の宮崎中学校・川崎市青少年の家・虎の門病院分院付近に置かれた。また鷺沼4丁目の鷺沼北公園には東京空襲のために飛来する米軍機に対する探照灯が、宮前平3丁目の八幡坂上には高射砲陣地が、それぞれ置かれていた。



今も残る軍用地境を示す石碑

めざましい開発

終戦により軍用地として接収されていた土地が住民に農地として売り渡されたが、道路の整備や区画整理が進み、高度成長期を迎えて住宅開発も始まり、農地は次第に減少していった。昭和28(1953)年、城西南地区開発趣意書が発表され、野川第一土地区画整理組合をはじめとしていくつかの区画整理組合が設立され大規模な開発が始まった。

昭和41(1966)年には東急田園都市線が満口の口から長津田まで延長され、区内には宮崎台・宮前平・鷺沼の3駅が開設された。その後昭和43(1968)年には東名高速道路が開通、第

3京浜道路などともあいまって、静かな郊外であったこの地域は大きく発展していった。

昭和47(1972)年、川崎市が政令指定都市となった際に高津区の一部となったが、その後の人口増加が著しくなり、昭和57(1982)年に分区され宮前区が誕生した。



宮前区誕生セレモニー(「新しい市政の発展に向けて—川崎市行政区再編成の記録—」川崎市から引用)

昭和50年頃には水田はほとんどなくなり、野菜、梨・メロンなどの果物、ハナモモなどの花卉(かき)の栽培が中心となり、谷戸や丘陵地も一戸建てやマンションが立ち並ぶようになった。しかしかつての農地は生産緑地として今でも多く残り、野菜や植木の栽培が続けられている。また民俗芸能や、大山講・御嶽講、庚申講などの庶民文化は住民にいまも引き継がれている。



御嶽講の狼の標符

「宮前歴史ガイド」

宮前区歴史文化調査委員会が区の歴史と文化を掘り起こしてとりまとめた。宮前区の歴史年表とともに、区内の歴史的旧跡・遺跡・石造物や旧村界が示されている。区役所地域振興課で入手できる。



宮前区の民俗芸能

区内伝承の民俗芸能は、保存会7団体により川崎市民俗芸能保存協会に加盟し、守り伝えられている。

初山の獅子舞 はつやまのししまい

初山の獅子舞は、伝承も記録も残されていない。現在、保存会が継承する獅子頭の一つは、川崎市教育委員会の調査の結果、江戸時代初期のものとして推定されている。奉納舞で使われる獅子頭は、江戸時代中期・後期のものとされている。

獅子舞は、剣獅子・玉獅子・巻獅子と天狗の面をつけた幣負い(へいおい)の4人が1尺の土俵で舞う。土俵内で身体を中腰に構え、膝を曲げて、地をほうように舞うのが特徴。この4人は未成年者の長男に限られ、地元、菅生小・中学校の生徒も、天狗や三頭獅子役で出演する。

初山の獅子舞は、当初、初山正八幡社に奉納されていたが、明治末期に菅生神社に初山正八幡社が合祀(ごうし)されたあとは、菅生神社祭礼に奉納されることになった。現在、獅子舞は初山獅子舞保存会によって保存されている。

平成13年には、県の無形民俗文化財に指定されている。なお、初山正八幡社跡は飛森(とんもり)谷戸にあり、ボランティアの手により整備されて、周辺地域の人々の憩いの場となっている。

禰宜舞 ねぎまい

禰宜舞の起源は明確ではないが、慶長5(1600)年、徳川家康が関ヶ原の戦いに出陣する際、戦勝祈願を願ひ、平村の白幡八幡社の神主であった小泉家に「太々神楽」を舞わせたのが始まりと言われ、今日に至っている。

禰宜舞は神主ひとりの舞で、締め太鼓一つだけの伴奏で行われる。舞の特徴は、問答が無いことである。鈴を鳴らしながら奏上す

る素面による四方祓(しほうはらい)の舞で始まり、面、衣装、持ち物を取り替えて五座の神々の舞を舞う。神主・小泉家に伝わる一子相伝の舞であるが、昭和53(1978)年、川崎市民俗芸能保存協会の結成を機に、保存会が作られた。

野川囃子 のがわはやし

江戸時代末期、高津区坂戸や横浜市都筑区北山田町に伝わる囃子を習い覚えた人が、明治10(1877)年頃に野川の地に伝えたのが始まりと言われる。居囃子と狐(きつね)の種まき、えびすの鯛釣(たいつり)などの囃子神楽があり、明治から昭和にかけて時代に、村祭りなどで盛んに演じられていた。戦争で中断したが、昭和45年に保存会が結成され復活した。

土橋万作踊り つちしまんさくおどり

江戸時代末期、王禅寺に住む船(あめ)屋が、現在の横浜市青葉区保木の人たちに教えたものを大正時代の初めに習い覚え、念仏講の夜に踊ったのが始まりと言う。

万作踊りは、船屋踊り、粉屋踊り、あるいはオイトコ節とも言われる。江戸時代の末期から明治時代にかけて関東地方の南部から各地に広まったもので、土橋万作踊り・瀬田の唐橋・島田金谷・新川踊り・芝山内・勝五郎箱根山・大津絵などである。昭和初期以降は廃れていたが、昭和22(1947)年に復活した。

有馬囃子 ありまはやし

明治時代末期に、現在の横浜市都筑区北山田町に伝わる山手囃子を継承したもので、有馬神明神社を中心に継承されてきた。戦後中断したが、昭和49(1974)年に地元の人々の熱意によって復活した。踊り手無しの居囃子には、ハヤ・カマクラ・ミヤカマクラなど、踊りにはハヤ・カマクラ・インペアガリなどがあり、順番に演じられる。下有馬不動尊で練習を重ねており、有馬神明神社のお祭りなどで奉納される。

有馬大正踊り八木節

ありまたいしやうおどりやぎふし

大正時代初期、有馬の青年が東京の浅草で全盛を極めていた「八木節」を持ち帰り、地域の娯楽として紹介したのが始まり。娘たちが長褌袴(じゅばん)を着て華やかに舞ったことから、今でも衣装には色鮮やかなものが使われている。また囃子方や踊りにも特徴があり、蛇の目傘や花笠を使うなど、有馬独特の八木節になっている。歌詞には、八木節が誕生したころの有馬の姿や祭のにぎわいなどが歌い込められている。西有馬小学校に保存会がある。

白幡八幡大神平囃子連中

しらはたはちまんたいじんたいらはやしれんちゆう

明治30(1897)年頃、平の有力者が現在の横浜市都筑区山田町から神楽師を迎え、平に伝わるお囃子に段ものを取り入れたのが始まり。戦後、都市化が進む中で、二度中断を余儀なくされたが、昭和61(1986)年からは小学生による子ども囃子も結成された。白幡八幡大神の祭礼や地域の催しなどで活躍している。

囃子に使われる楽器は、5つの楽器「笛・大太鼓・小太鼓2つ・鉦(かね)」を使う居囃子のほか、段ものには狐(きつね)の種まき、獅子(しし)のこより通しや悪魔払いの舞があり、両面踊りも取り入れられている。



地名の由来

地名の由来には諸説あるが、ここでは、その代表的な説を紹介する。

「宮前区」明治22(1889)年、梶ヶ谷・野川・馬網・有馬・土橋・溝口村の飛地を合併して、宮前(みやさき)村が誕生した。宮前村の呼称は、馬網の大字宮ノ前にちなむ。宮前区が高津区から分区した際、この名称を採用し、「みやまえ」と呼ぶことを決めた。

「梶ヶ谷」谷戸が多い地形から付けられた説、鍛冶にちなむ説、カシの木に關した説などがある。詳細は不明。

「馬網」古くは馬網を「マキ又」と読み、牧野(牧場)に由来すると言う。

「鷺沼」かつて鷺沼谷(さぎぬまやと)の谷底には湿地が広がり、白鷺(さぎ)が飛来したと言う。

「土橋」鎌倉道を通った源頼朝が、土の橋を架けさせたことに由来するとする。付近には近年まで、鞍掛松茶苑(ちやせん)松などの松の大木があった。

「有馬」江戸時代には有間とも書かれた。馬は当て字である。全国の有馬地名と合わせて考えると、未開地を示す地名か。

「犬蔵」犬は低地を表す言葉。かつて犬は「イノ」とも発音された。「イノ」は湧(わ)き水か。蔵は谷・崖を指すと言う。

「菅生」スゲが生えた土地を意味する。以前、平瀬川流域は曲流し低湿地が広がっていた。

「水沢」平瀬川と矢上川の水源地。菅生緑地付近には、清水頭と呼ばれる湧水地があった。

「神原(ひえばら)」ヒエを栽培していたと言う説、「冷たい原」と言う説がある。

「初山」正月の山入りの初山から付けられたと言う説がある。

「平」『新編武蔵風土記稿』は、平の領主・葛原平から生まれたと言う。平瀬川の沖積地に広がる平地が地名の由来か。

「神木(しほく)」日本武尊(やまとたけるのみこと)による神木伝説、あるいは古代の牧に關した新牧説がある。地形から見ると、平瀬川の湿地帯から付けられた可能性もある。

「五所塚」五つの塚に由来する。塚は災難除け、平将門の乱で戦死した朝廷方の将軍、長尾影虎の従者が討死したなどの諸説が残る。

宮前区の坂道

～坂道から宮前区の歴史を知る～

宮前区には坂が多い。「宮前歴史ガイド」にも38の坂が紹介されており、それぞれに特徴がある。ここでは歴史があり今でも人気がある、旧大山街道にスポットを当てて紹介する。(大山街道コースP50～51参照)

二つの八幡坂 はちまんざか

宮前区には同じ名前の坂がある。一つは宮前郵便局から宮前平駅前へ下る「八幡坂」、もう一つは「フレルさぎ沼」の裏側にあるみずほ銀行の横を通り国道246号線へ下る「八幡坂」だ。

●土橋の八幡坂

平成13年2月に区で坂の愛称を募集し、駅前に八幡神社があることから八幡坂と名付けられた。急坂だが、イチョウ並木が美しく景色を楽しみながら歩くことができる。現在までに数回ルートを変更しており、かつて坂の両側は土手で木が鬱蒼(うっそう)と茂り、湧(わ)き水が出ていた。またかなりの急坂で、荷車が下るときは車輪を縛って輪止めを行っていた。



土橋の八幡坂

●有馬の八幡坂

坂の名称である八幡社は、現在近くの民家に移されている。かつて坂の途中には蹄鉄(ていてつ)を作り馬の医師をしていた伯楽があった。また坂の下方には出店があり、江戸時代にはお菓子や薬、草鞋(わらじ)などを売っていた。



有馬の八幡坂

時代に翻弄された庚申坂 こうしんざか

梶が谷駅から旧大山街道を歩くと宮前生活環境事業所を過ぎ、二股に分かれる。左が長坂で右が庚申坂。坂の由来である庚申堂は、昭和16年ごろ旧陸軍東部62部隊の軍用地として接収された時に、馬絹に移された。江戸時代には大山詣での人々が庚申堂に道中立ち寄り、安全を祈ったと言われている。

(庚申堂の移動先はP48㊦を参照)

坂の今、昔 小台坂 こたいざか

現在はマンションが立ち並び、道路は道幅も広く整備されているが、昭和30年前後は道幅も狭く、急勾配で、両側の土手から清水が湧き出していた。一度長雨に降られると道路はぬかるみ、荷車の往来に支障をきたし、明治時代には通行が困難になり迂回(うかい)路に変更されることもあった。



撮影：小池 汪さん

昭和44年の小台坂

*「ホントに歩く大山街道」(中平健二郎著、風人社発行)、P76、P78、P86から引用

宮前区の街道

鎌倉街道 かまくらかいどう

鎌倉街道は、鎌倉幕府と各地を結ぶ道路であり、鎌倉と京都・北関東・東北・信越地方などを連絡していた。区内には、矢倉沢往還と重複したと推定される鎌倉街道中道が荏田方面から有馬・土橋・馬絹を経て溝口方面に連絡している。この他にも鎌倉街道の支線が柝形(ますがた)城・登戸方面に通じていた。柝形城は、源頼朝の重臣・稲毛三郎が守る、鎌倉防衛線上の役割を果たしていた。

伝承が残されている支線には、有馬の八幡坂(現鷺沼)から土橋・初山・生田緑地を経て柝形城に達するルートがあり、途中、頼朝に因(ちな)む茶苑(ちやせん)松・鞍掛松・土橋などがあつた。もう一つのルートは、荏田から石川・水沢・権現坂を経て柝形城・登戸方面に連絡していた。

大山街道 おおやまかいどう



小台坂

大山道は、福島県の磐城、新潟県の魚沼、長野県の佐久・松本地方、静岡県や伊豆諸島などから相州大山を目指した信仰の道である。

阿夫利神社は延喜式内社の古社で、関東総鎮護として崇敬されてきた。大山寺は天平勝宝7(755)年に、東大寺の初代別当良弁が聖武天皇の勅願寺として開創したと言う。江戸時代中期になると、大山詣でが盛んになり日照りが続く(ご)いを行い、また商売繁盛・航海安全・豊作豊漁などを祈願するため訪れるようになった。

区内を通過する大山道は、矢倉沢往還の大山街道と呼ばれ、30数ルートある大山道を代表している。街道の名称は、青山道・赤坂道・江戸道・厚木道などと呼ばれていた。矢倉沢往還は、慶長6(1601)年に徳川家康によって東海道の脇往還として整備された。東海道は大名・武士が多く通行し表街道的な存在であったが、矢倉沢往還は商人・農民が多く利用する裏街道的な存在であった。しかし矢倉沢往還は、駿河の茶・繭、伊豆の干し魚、栗野の煙草、相模川の鮎などを江戸に供給する経済的に重要な道であった。

現在、区内の道路は都市開発のため土橋・有馬などで消滅している。一方、宮崎大塚付近、馬絹の小台坂、有馬の八幡坂などでは街道の面影を残している。

王禅寺道 おうぜんじみち



十三坊台の庚申塔(遺構)

王禅寺道は、麻生区にある真言宗の寺に向う道で、古くから「東の高野山」として知られてきた。有馬の王禅寺道は、現在の有馬さくら公園付近で大山街道から分岐していたが、都市開発のため消滅している。有馬9丁目に残された馬頭観音には「右王禅寺道」「左大山道」と刻まれている。宮崎大塚を起点にする道は大山街道から分岐したあと、神木から尾根道に上り、けやき平・犬蔵から菅生に抜けていたが、川崎市中央卸売市場北部市場付近で道路は消滅している。神木本町には道標を兼ねた庚申塔や、二十三夜供養塔が残されている。

宮前区の川

平瀬川 ひらせがわ

宮前区水沢3丁目の湧(わ)き水から始まる本流と、麻生区東百合丘の田園調布学園大学付近にある湧き水から始まる支川が、菅生小学校付近で合流する多摩川までの7.56kmの川である。

上流部では、毎年4月に「桜まつり」、7月に「七夕サミット」と平瀬川流域まちづくり協議会を中心にいろいろなイベントが行われている。本流上流部は、3月下旬から4月下旬にかけて、花見ができるいろいろな種類の桜並木がある。



平瀬川の桜



平瀬川の七夕サミット

矢上川 やがみがわ

宮前区水沢3丁目の川崎市中央卸売市場北部市場付近を源に、尻手黒川道路に沿って流れて鶴見川に合流する川。鶴見川まで4.48km。上流部は暗渠(あんきょ)が多く、目に見えるようになるのは東名高速道路下あたりからで、流域は住宅街に囲まれ、名もない小さな橋がたくさんかかっている。川の流れがはっきりするのは、JR梶ヶ谷貨物ターミナル駅付近からとなる。



有馬川 ありまがわ

宮前区鷺沼2丁目付近を源に、有馬・野川地区を流れ、高津区野川の五反田橋付近で矢上川と合流する川である。矢上川まで5.33km。上流部は暗渠(あんきょ)で、国道246号線あたりから川幅を確認できる。中有馬付近を中心に本流を暗渠にし、上部に親水川として遊歩道とする計画を立てたこともある。打越橋付近から川幅が広がり、横浜市都筑区との区境として流れている。



宮前区の谷戸 やと

宮前区は多摩丘陵に立地するため多くの谷戸が発達し、地形は起伏が激しい。谷戸は河川が丘陵を長い歳月にわたり浸食した地形で、斜面と谷底から構成されている。宮前区には、開発前に200以上の谷戸が残されていた。

飛森谷戸 とんもりやと

長沢浄水場東側から平瀬川に迫る約1.4kmの長い谷戸。二子谷(ふたごやと)、狼谷(おおかみやと)の枝谷(えだやと)を持つ。谷戸の入口にある本蓮寺の背後にある尾根に鎌倉古道が残ると推定される。「飛森谷戸の自然を守る会」が谷戸の自然を守っている。



鶴ヶ谷 つるがやと

向ヶ丘遊園跡地付近から等覚院通りまで延びる約1.3kmの谷戸。谷戸の名称は、ツルが羽ばたく形から付けられたと言う。谷戸にある御水は、等覚院の創建に伴う伝説を残している。

鷺沼谷 さぎぬまやと

有馬川の水源地であり、猪谷(むじなやと)・長谷(ながやと)・梅ノ木谷(うめのきやと)などの枝谷(えだやと)を持つ。谷戸には古い時代、人が住み着き、鷺沼長谷遺跡・鷺沼南遺跡・鷺沼遺跡が発見されている。

権六谷戸 こんろくやと

野川小学校付近から野川老人いこいの家辺りまで延びる半月状の谷戸。谷戸の原型を残していたが、近年、開発が進み急速に地形が壊されている。谷戸の旧家には板碑が残され、落武者伝説が伝えられている。

谷戸の語源

「ヤト」は山地を河川が浸食して作った地形で、急傾斜の斜面の下に細長い谷底が続き、湧(わ)き水のため低湿地帯が多い。関東地方を中心に広がる地名。「ヤ」は湿地を指し、「ト」は場所を示す言葉である。縄文海進期には、海の入江であったと考えられる場所が多い。「ヤツ」(谷津・谷)、「ヤチ」(谷地・谷内)も同源語であり、日本全国に広く分布している。従来、「ヤト」は「谷」と表記したが、難読のため最近では「谷戸」と記すことが多い。



宮前区のイベント

響け!
みやまえ太鼓ミーティング

～打つ 響く
広がりふれあう まちづくり～

地域に根差した個性豊かで魅力ある文化の創造を目指し、平成11年から「響け!みやまえ太鼓ミーティング」を開催。区内で活動するグループが、民俗芸能や和太鼓演奏を披露するほか、太鼓体験コーナーもある。平成22年から宮前(みやさき)ねぶたも登場、雅な姿を披露している。



かがり火の中で和太鼓を演奏



宮前(みやさき)ねぶた

イベント名	開催時期	開催場所	問合せ	概要
みやまえロビーコンサート	月1回	宮前区役所 2階ロビーなど	区役所地域振興課	昼時に開催する、多彩なジャンルのコンサート。
さぎぬまはるまつり	3月末～4月初旬	フロントタウン さぎぬま	フロントタウンさぎぬま	フットサルミニゲームや地元野菜の直販など。
さぎ沼さくらまつり	4月	鷺沼駅周辺	さくらまつり実行委員会 (さぎ沼商店会)	音楽演奏など各種イベントや屋台など。
宮崎台ふる里さくら祭り	4月	宮崎台駅周辺	ふる里さくら祭り実行委員会	パレードなど各種イベントや屋台など。
平瀬川桜の集いと粘の放流	4月中旬	蘇敷橋水広場(菅生)	平瀬川流域まちづくり協議会	子どもたちが吹奏楽や太鼓を演奏。粘の放流も。
みんな集まれ平瀬川七夕サミット	7月	平瀬川各所、菅生小学校体育館、または向丘小学校体育館	平瀬川流域まちづくり協議会	平瀬川の清掃と各種発表会を実施。
響け!みやまえ太鼓ミーティング	8月	宮前市民館、区役所市民広場	響け!みやまえ太鼓ミーティング実行委員会(区役所地域振興課)	区内の和太鼓のグループが演技を披露。
さぎぬまなつまつり	8月	フロントタウン さぎぬま	フロントタウンさぎぬま	フットサルミニゲームや練日、地元野菜直販など。
夏休み子どもあそびランド	8月下旬	宮前市民館	夏休み子どもあそびランド企画運営委員会(宮前市民館)	地域でつくる、子ども向けイベント。あそびのコーナー、舞台発表など。
しあわせを呼ぶコンサート	9月	宮前市民館	区役所地域振興課	音楽を通じて、心のバリアフリーを目指すコンサート。
宮前区民祭	10月	宮前区役所・市民館、区役所前広場	宮前区民祭実行委員会事務局(区役所)	舞台発表や展示、屋台など。
みやまえ子育てフェスタ	10月	宮前市民館	みやまえ子育てフェスタ実行委員会(宮前市民館)	おもに乳幼児の保護者に向けた子育てイベント。
すがお手つなぎまつり	11月	地域子育て支援センターすがお など	菅生分館	地域でつくる、世代をこえた子育てイベント。
さぎぬまふゆまつり	12月	フロントタウン さぎぬま	フロントタウンさぎぬま	フットサルミニゲームや出店、地元野菜直販など。

しあわせを呼ぶコンサート

～「第九」を原語で歌いたいー ある障害者の男性の願いから生まれた心温まるコンサート～

さまざまな障害のある区民が練習を重ね、プロの演奏家やソリスト、地域の市民合唱団、福祉ボランティアとともに、ステージと会場が一体となりコンサートを作り上げる。平成12年から開催。



宮前区民祭

～小さな手 大きな手
みんなで築く宮前区～

宮前区の誕生をきっかけに、区民の友情と連携を育むことを目指して昭和57年11月から開催。以前は、川崎市中央卸売市場北部市場を会場に開催していたが、平成26年から、区役所前広場を中心に開催している。舞台でのパフォーマンス、各団体の展示、屋台、大道芸、消防フェアなど、毎年多くの区民でにぎわう。



※2018年3月時点の情報

春



茶寮院ツツジ



鷺沼サクラ



日本橋エグナグドのサクラ



菅生ハナモモ



五所塚サクラ

夏



けやき平夏まつり



みやまろ太鼓ミーティング



野川南耕地



水沢の森



秋



平瀬川コスモス



区役所前通り



とんぼり稲刈り



馬鍋秋まつり

冬



東高根森林公園



菅生神社とんと焼き



出初式



アリーナのお祭り



人口
230,080人
(全市1,505,357人)
 男 **112,715人**
(全市762,929人)
 女 **117,365人**
(全市742,428人)
(平成30年1月1日)

人口密度
12,370人/km²
(全市10,429人)
(平成30年1月1日)



世帯数
98,213世帯
(全市717,241世帯)
(平成30年1月1日)

1世帯あたりの人数
2.34人
(全市2.10人)
(平成30年1月1日)

数字で見る
 宮前区

1年間(平成29年)の...

出生 **2,017人**
(全市14,136人)
 死亡 **1,470人**
(全市11,142人)
 転入 **14,512人**
(全市107,936人)
 転出 **13,114人**
(全市97,150人)

平均年齢
43.8歳
(全市43.2歳)
(平成29年)

宮前区の面積
18.60km²

東西に8.63km
 南北に4.73km
(全市144.35km²)



- 潮見台
- 菅生ヶ丘
- 水沢
- 菅生
- 初山
- 犬蔵
- 白啼台
- 南平台
- けやき平
- 平
- 五所塚
- 神木本町1丁目



水沢の森(菅生緑地・西地区)



とんもり谷戸



平瀬川



水と緑の里



菅生・平エリア

多摩丘陵の景観を残すこの地域には、里山の風景にいだかれた暮らしがある。
 親水化された清流や木々の間に子ども達の声も聞こえる。

菅生・平エリア地図、歳時記 … P22～23
 公園 …… P24～25
 ①菅生緑地(市民健康の森)東地区・西地区(水沢の森)
 ②生田緑地 ③生田緑地南遊園 ④菅生ヶ丘特別緑地
 ⑤西長沢公園 ⑥鷺ヶ峰子供の里公園 ⑦鷺ヶ峰けやき
 公園 ⑧平4丁目公園 ⑨宮前美しの森公園

自然 …… P26～28
 ⑩尻手黒川道路の並木道(ナンキンハゼの並木道)
 (ユリノキ並木と遊歩道) ⑪けやき平のケヤキ並木
 ⑫おし沼線のケヤキ並木 ⑬南平のイチョウ並木
 ⑭秋月院の樹木 ⑮初山団地の八重桜 ⑯平瀬川上流域
 のサクワ ⑰菅生王の榎き分けツバキ ⑱平のケヤキ
 ⑲白幡八幡大神のクスノキ ⑳妙楽寺のアジサイ
 (多摩区) ㉑水生植物観賞池 ㉒西長沢浄水場

神社・仏閣 …… P28～30
 ㉓尊寛院 ㉔妙楽寺(多摩区) ㉕白幡八幡大神 ㉖八雲
 神社(天王社) ㉗菅生神社 ㉘犬蔵天神社 ㉙本達寺
 ㉚長安寺 ㉛秋月院 ㉜東泉寺 ㉝菅生王

まちのスポット …… P31～32
 ㉞川崎市中央卸売市場北都市場 ㉟川崎市消防訓練セ
 ンター ㊱高前スポーツセンター ㊲ヨネッティー王禅寺
 (麻生区) ㊳聖マリアンナ医科大学病院 ㊴菅生こども
 文化センター ㊵高前市民館菅生分館 ㊶東名トンネル
 アート ㊷浄水場通りの子ども大壁画 ㊸コミュニケーション
 プラザ川崎

伝承 …… P33
 菅生太鼓連、初山十王堂、五所塚と権現の松

お散歩コース …… P34～36
 市境西コース、①平瀬川沿いコース/②とんもり・生田
 緑地コース、犬蔵・土橋コース

●公園 (P24~25)

- 1 菅生緑地 (市民健康の森) P24
- 2 東地区・西地区 (水沢の森) P24
- 3 生田緑地 P24
- 4 生田緑地南遊園 P24
- 5 菅生ヶ丘特別緑地 P25
- 6 西長沢公園 P25
- 7 菅ヶ丘公園 P25
- 8 菅ヶ丘公園 P25
- 9 菅ヶ丘公園 P25

●まちのスポット (P31~32, P49)

- 34 川崎市中央卸売市場北部市場 P31
- 35 川崎市消防訓練センター P31
- 36 宮前スポーツセンター P31
- 37 ミネッティー王様寺 (麻生区) P31
- 38 聖マリアンナ医科大学病院 P32
- 39 菅生子ども文化センター P32
- 40 宮前市民館菅生分館 P32
- 41 東名トンネルアート P32
- 42 浄水場通り子ども大鼓屋 P32
- 43 コミュニケーション・プラザ川崎 P32

●自然 (P26~28)

- 10 尻手尾川運路の並木道
 - ナンキンハゼの並木道 P26
 - ユリノキ並木と遊歩道 P26
- 11 けやき平のケヤキ並木 P26
- 12 おし沼跡のケヤキ並木 P26
- 13 南平のイチヨウ並木 P26
- 14 秋月跡の樹木 P27
- 15 初山団地の八重桜 P27
- 16 平瀬川上流域のサクラ P27
- 17 菅生川の咲き分けツバキ P27
- 18 平のケヤキ P27
- 19 白幡八幡大神のクスノキ P27
- 20 妙善寺のアジサイ (多摩区) P28
- 21 水生植物観察池 P28
- 22 西長沢浄水場 P28

●神社・仏閣 (P28~30)

- 23 尊覚院 P28
- 24 妙善寺 (多摩区) P28
- 25 白幡八幡大神 P29
- 26 八幡神社 P29
- 27 菅生神社 P29
- 28 大蔵天神社 P29
- 29 本蓮寺 P30
- 30 長安寺 P30
- 31 秋月院 P30
- 32 東康寺 P30
- 33 龍王庵 P30

●歳時記

開催日	行事	見どころ・場所など
1月1~8日	尊覚院新年	薬師如来ご開帳 (尊覚院P28◎)
1月中旬	どんと焼き	正月飾りの焚き(た)き上げと無病息災の母子(だんご)焼き(白幡八幡大神P29◎、八幡神社(天王社)P29◎、菅生神社P29◎、大蔵天神社P29◎)
3月第1卯の日	初卯祭	菓(か)大蛇奉納と伊村(ぶしゅ)祭(白幡八幡大神P29◎)
4月28日	大蔵若経巻読	ツツシの花が真ころ(尊覚院P28◎)
5月8日	花祭り	フジの花のほが季節の花を飾る(本蓮寺P30◎)
7月第2日曜日	夏祭り	菅生舞(おぎまい)/八幡神社(天王社)P29◎
7月第3日曜日	白幡八幡大神例大祭	菅生舞(おぎまい)-平瀬子(ぼやし)(白幡八幡大神P29◎)
9月第3日曜日	白幡八幡大神例大祭	菅生舞(おぎまい)-平瀬子(ぼやし)-子ども相撲-神楽(みこし)-山車(だし)(白幡八幡大神P29◎)
10月第1日曜日	菅生神社例大祭	初山の獅子(しし)舞-大太鼓-演習会(菅生神社P29◎)
11月2日	お会式	万灯籠-縁日(本蓮寺P30◎)
12月第2日曜日	観音講	観音講の人お祭り(長安寺P30◎)
12月冬至	餅まわり	南瓜煮(本蓮寺P30◎)



多摩区について
 公園
 自然
 神社・仏閣
 まちのスポット
 お散歩コース
 索引

多摩区について
 公園
 自然
 神社・仏閣
 まちのスポット
 お散歩コース
 索引

菅生・平エリア

公園

自然

神社・仏閣

まちのスポット

お散歩コース

索引

菅生・平エリア

公園

自然

神社・仏閣

まちのスポット

お散歩コース

索引

1 菅生緑地(市民健康の森) 東地区・西地区(水沢の森)

「宮前区市民健康の森」として、東地区・西地区とも、緑地を開放している。東地区は、隣接する川崎市中央卸売市場北部市場とともに昭和61年4月に誕生。樹木に囲まれた広大な敷地には、斜面を利用した子どもの遊び場などもあり、多くの区民に親しまれている。

西地区(愛称「水沢の森」)は、市境の尾根道から緩やかに下がる斜面を、雑木林や竹林がある里山として整備・保全している。付近の遺跡にちなんで「縄文の森」などもあり、中を散策できる。ボランティア・グループ「水沢森人の会」が保全・管理を担う。

- 所在地: 東地区 水沢1丁目(北部市場南側)
西地区 水沢2丁目
- 交通: ● 南水沢、美しが丘三丁目
- 面積: 東西合計で64.598km²
- 設備: 東地区 水道・トイレ・遊具
西地区 水道・仮設トイレ



菅生緑地(東地区)



菅生緑地・水沢の森(西地区)

2 生田緑地

多摩丘陵の一角に位置する、市内随一の緑の宝庫。大半は多摩区だが、とんもり谷戸や南遊園など、一部は宮前区内にある。標高84mの枳形山展望台をはじめ、起伏に富んだ地形に多くの自然が残り、多様な動植物が生息する。しょうぶ園や水生植物観賞池、芝生が広がる中央広場など、自然を生かした公園施設がある。このほか、岡本太郎美術館、日本民家園、青少年科学館などの文化施設も点在。川崎国際生田緑地ゴルフ場では年4回、子ども向けにゴルフ場を遊び場として開放する。

- 所在地: 多摩区枳形7丁目ほか
- 交通: ● 小田急線向ヶ丘遊園駅 ● 初山
- 面積: 179.3ha(ゴルフ場、計画域を含む)
- 設備: 水道・トイレ



水生植物観賞池の遊歩道

3 生田緑地南遊園

川崎国際生田緑地ゴルフ場の南西端に位置し、とんもり谷戸へ抜ける遊歩道がある。

- 所在地: 初山1-40 ● 交通: ● 緑地
- 面積: 生田緑地を含む
- 設備: 水道・トイレ・遊具



4 菅生ヶ丘特別緑地



平成19年に特別緑地保全地区指定を受け、地域のボランティア団体が保全に努める。

- 所在地: 菅生ヶ丘8
- 交通: ● 菅生3丁目
- 面積: 2,486m²

5 西長沢公園

浄水場の貯水槽上を利用した公園。2面ある多目的広場の利用には、「ふれあいネット」(p73参照)での予約が必要。

- 所在地: 瀬見台4-2 ● 交通: ● 瀬見台
- 面積: 22,894m² ● 設備: 水道・トイレ



6 鷺ヶ峰子供の里公園

自然との触れ合いが楽しめる公園。樹木が多く、山の斜面を利用した長いスベリ台が人気。トイレ・水道は斜面下の広場に設置。

- 所在地: 菅生ヶ丘19-1
- 交通: ● 神原小学校前
- 面積: 2,696m² ● 設備: 水道・トイレ・遊具



斜面を利用した青いスベリ台

7 鷺ヶ峰けやき公園



公園内の多目的広場(1,300m²)は、キャッチボールやボール遊びなど自由に使える。事前に団体登録することで、専用使用することも可能(登録先は、区役所地域振興課)。

- 所在地: 菅生ヶ丘33-1
- 交通: ● 瀬見台浄水場前バス停
- 面積: 5,575m² ● 設備: 水道・トイレ・遊具

8 平4丁目公園

平瀬川沿いの段丘にある公園。二段になった広場から、初山の里山を望む。遊歩道を挟んだ平瀬川そばに親水部分がある。

- 所在地: 平4-17 ● 交通: ● 平
- 面積: 2,941m² ● 設備: 遊具



平瀬川に下りられる親水部分がある

9 宮前美しの森公園

森と広場と湿地が広がる公園。湿地は、ホトケドジョウの矢上川流域最後の生息地。

- 所在地: 犬蔵2-35-3~4
- 交通: ● 犬蔵
- 面積: 11,621m²
- 設備: 水道・トイレ



宮前美しの森公園の湿地

10 尻手黒川道路の並木道

ナンキンハゼの並木道:「南京のハゼの木」という意味を含んでいる。秋にはハート型に似た菱(ひし)形状の薄い葉が紅葉する。芽吹き、若葉、紅葉、樹形などそれぞれが美しい。並木を計画した当初は、種が「ろう」で滑るのではないかと心配され、また苗木が少なかったため、植樹までには4~5年かかったという。公園ではよく見かける樹木だが、街路樹としては珍しく、それだけに特色のある並木道になっている。

●所在地:馬絹交差点~菅生車庫

ユリノキ並木と遊歩道:清水台交差点から神原に向かって右側に続いている。広い遊歩道にユリノキやハナミズキなどが植えられている。歩道には、宮前区のシンボルマークのモニュメントや、童謡の歌詞が書かれた椅子やベンチなどもあり、犬を連れて散歩する人やウォーキングをする人々の憩いの場になっている。

ユリノキは、その葉の形からハンテンモク(半纏木)、花の形からチューリップツリーの別名がある。街路樹としての歴史は古く、明治初期に日本に移植され、区内でも多く見られる。

●所在地:清水台交差点~神原



ユリノキ並木と遊歩道

11 けやき平のケヤキ並木

名前のとおり四季を通じて枝葉の変化を楽しめる並木道。昭和61年に開発された閑静な住宅地で、宮前区まちづくり協議会のフォトコンテストでは、必ず作品が応募される場所である。

●所在地:けやき平(宮前平グリーンハイツ内)



春 けやき平のケヤキ並木 秋

12 おし沼線のケヤキ並木

生田緑地と向ヶ丘遊園駅に向かう道に約1.5km続くケヤキ並木は、紅葉の始まる頃が美しい。まだ緑が残る葉に、色づいた葉が西日に輝いてまだら模様を作り上げる。日ごとに彩りを変えていくのも楽しい風景。春の芽吹き、夏のうっそうとした繁(しげ)り、葉を落とした冬の木立、四季それぞれの味わいのある景色は、道ゆく人々に安らぎを与えてくれる。

●所在地:平5丁目三差路~おし沼



おし沼線のケヤキ並木

13 南平のイチョウ並木

イチョウの成長が早く、秋の黄色い葉はこのほか美しい。そのため、イチョウ並木は全国的に多く見られる。ギンナン拾いは秋の風物詩の一つだが、イチョウは雌雄異株で、並木には実をつけない雄株を選ぶことが多い。このイチョウ並木はまだ若い。

●所在地:南平住宅付近~東名向丘入口



南平のイチョウ並木

14 秋月院の樹木

春は、コヒガンザクラやカンピザクラ。秋はモミジやイチョウの紅葉。里山の散策コースとしても楽しめるところ。

●所在地:菅生2-28-1

●交通:聖マリアンナ医科大グランド前



秋月院の樹木

15 初山団地の八重桜

高台にある初山団地の八重桜。

●所在地:初山2-16 ●交通:緑地



初山団地の八重桜

16 平瀬川上流域のサクラ

ウコン(鬱金)、ギョイコウ(御衣黄)などの変わり種八重桜を含め、20数種類がある。

●所在地:菅生4丁目 ●交通:蔵敷



平瀬川上流域のサクラ

17 薬王庵の咲き分けツバキ

薬王庵入口の中央にある。赤や白の様々な絞りの割合はみごと。

●所在地:平4-17-38 ●交通:平



薬王庵の咲き分けツバキ

18 平のケヤキ

平2丁目の消防署の北側にあり、葉を落とした冬はすっきりした「孤高の姿」を見せ、春から夏にかけては豊かな葉を繁(しげ)らせる。川崎市まちの樹50選、樹高17m。

●所在地:平1-5-1

●交通:堰下



平のケヤキ

19 白幡八幡大神のクスノキ

参道から石段を上がると、神殿の左手の斜面奥にあるモミジの後ろに、こんもりと繁(しげ)ったクスノキの大木がある。この木は、昭和天皇の即位を記念して植えられたもの。川崎市まちの樹50選、樹高18m。

●所在地:平4-6-1

●交通:白幡八幡前



白幡八幡大神のクスノキ

20 妙楽寺のアジサイ(多摩区)

1,000本の木々が豊かな彩りを見せ、アジサイの他にウメ、サクラ、ツバキ、ポタンなどの四季折々に花が咲いている。

●所在地: 多摩区長尾3-9-3

●交通: 五所塚



妙楽寺のアジサイ

21 水生植物観賞池

生田緑地の一部で、とんもり谷戸の最深部にある。リュウキンカなど各種の花が咲き、初夏にはキショウブ、初秋にはヒガンバナも見られる。

●所在地: 初山1丁目 ●交通: 初山



水生植物観賞池

22 西長沢浄水場

西長沢浄水場は神奈川県内広域水道企業団が運営する。川崎と横浜の両市に供給している。

●所在地: 潮見台4-1

●交通: 潮見台浄水場前



西長沢浄水場

23 等覚院

本尊 天台宗神木山 本尊不動明王

新年祈禱会: 1月1~8日

行事 子供座禅会: 7月24~31日

創建は不詳である。比叡山延暦寺の末寺。西方300mにある鶴ヶ谷(つるがやと)には、日本武尊(やまとたけるのみこと)にちなんだ湧(わ)き水と神木(しんぼく)の伝説があり、本尊の不動明王はその神木で、智証大師によって彫られたと伝えられている。この谷戸からは、室町時代の鑿口(わにぐち)が出土している。不動明王は秘仏であり、室町時代の木造薬師如来座像は、川崎市の重要歴史記念物に指定されている。本堂は安政年間(1854~60年)に再建された。仁王門は明治31(1898)年に建立された。また本堂の建立を記念した本尊開帳図の絵馬が、本堂内に掛けてある。関東三十六不動霊場第6番札所で、ぜんそくなどの祈禱寺(きとうじ)として知られている。境内のツツジはみごとで、5月連休ごろが見ごろ。

●所在地: 神木本町1-9-1

●交通: 神木不動



24 妙楽寺(多摩区)

本尊 天台宗長尾山 阿彌陀(あみだ)如来

等覚院近くの妙楽寺は、アジサイ寺として有名で、境内にはご住職が丹精込めた色とりどりの1,000本の花が咲く。また、中世初期に存在し、『吾妻(あづま)鏡』に登場する源家累代の祈禱所であった威光寺(いこうじ)との関連が指摘され、注目を集めている。

●所在地: 多摩区長尾3-9-3

●交通: 五所塚

25 白幡八幡大神

祭神 応神天皇 神功皇后 仁徳天皇

祭礼 初卯祭(3月の初卯の日) 夏祭り(7月第3日曜日)

例大祭(9月第3日曜日)

康平4(1061)年、源頼義の祈願により創建されたと伝える。その後源頼朝が鎌倉幕府を開いた時に再建し、源栄山八幡宮としたと言う。社伝によれば、稲毛三郎が崇拜し徳川家康も武運長久を祈願している。鎌倉時代から稲毛領の総鎮守となり、江戸時代には禰宜舞(ねぎまい)が奉納され、現在に続いている。初卯祭には葦(わら)大蛇奉納と歩射(ぶしゃ)と呼ぶマトーが行われ、例祭と夏祭りには川崎市無形文化財指定の禰宜舞が行われる。

●所在地: 平4-6-1

●交通: 白幡八幡前



26 八雲神社(天王社)

祭神 素戔嗚尊(すさのおのみこと)

祭礼 夏祭(7月第2日曜日)



バス停前の榊原会館の右奥に神社はある。江戸時代中ごろの享保年間(1716~1735年)、榊原に疫病が流行したとき、牛頭(ごず)天王をまつたのが始まりといわれている。境内には、馬頭観音や庚申塔などの石造物が集められている。享保12(1727)年に造立された古いものがある。

●所在地: 菅生ヶ丘27 ●交通: 天王下

27 菅生神社

祭神 応神天皇 神功皇后 仁徳天皇

祭礼 例大祭(10月第1日曜日)

神社の創建は鎌倉時代の天福元(1233)年にさかのぼると言う。当時は、平の白幡八幡宮のご分霊をまつり、若宮八幡と言われていた。若宮八幡は、下菅生村蔵敷の鎮守だったが、明治43(1910)年に、初山、犬蔵、蔵敷、長沢、榊原などの各鎮守12社を合祀(ごうし)して、菅生神社と改称し、地域全体の鎮守となった。社殿には、「神功皇后と武内宿禰(たけのうちのすくね)図」の大絵馬など12点がある。境内のイチヨウの根元にある石の祠(ほこら)は、犬蔵の御蔭社にあったもの。例大祭の宵宮には、地元の人たちによる奉納演芸大会や、宮前区随一とされる太鼓連が地域中を練り歩き、祭りの始まりを告げる。当日は神輿(みこし)と太鼓が町内を巡行し、神社の境内では、県指定の無形民俗文化財である初山の獅子(し)舞も奉納される。

●所在地: 菅生2-8-1

●交通: 菅生中学校前



28 犬蔵天神社

祭神 菅原道真

尻手黒川道路から一歩入った旧道沿いの石段上にある小さな社。石造りの天神像は衣冠束帯姿で、江戸時代中ごろの明和4(1767)年の造立。社の前には、馬頭観音や庚申塔や稲荷祠(ほこら)もある。月待供養塔には、二十三夜の月待行事の記念に勢至菩薩(せいしぼさつ)の銘が刻まれている。

●所在地: 犬蔵1-14 ●交通: 犬蔵

29 本遠寺(ほんのんじ)

本尊 日蓮宗初善山 日蓮上人

『新編武蔵風土記稿』によれば、寺は鎌倉時代の建治元(1276)年に鎌倉街道を通りかかった日蓮の弟子・日明が、一夜の宿のお礼に念持仏を納めたことに始まるという。永禄2(1569)年に本遠寺となり、元禄8(1695)年に、平との境にある尾根道からこの地に移された。この道は登戸方面と平を結んでいる。大正11(1922)年に、住職は村人を教育する目的で、寺に私立図書館を設立した。これは市内最古の図書館になっている。境内には「魚介類供養塔」があり、裏山の墓地には、歌手・越路吹雪の墓もある。



- 所在地: 初山1-2-1
- 交通: 〇初山

30 長安寺

本尊 真宗仏光寺派法林山 阿彌陀(あみだ)如来

寺の創建は不明。桃山時代に長安寺の第一世の住職、法林院殿浄安が中興開山した。俗名は杉田門殿次良長安(すぎたもんだのじろうながやす)で、寺の名称になっている。長安は横浜市杉田に生まれ、姓を問宮と名乗り北条氏に仕えた。徳川家の仕官を断り、戦没者の供養に務めた。長安は、江戸時代後期の医学書『解体新書』の杉田玄白の遠祖。

- 所在地: 菅生4-3-11 ●交通: 〇蔵敷

31 秋月院

本尊 曹洞宗長澤山 準提観音菩薩(ぼさつ)

天正元(1573)年に北条氏ゆかりの片岡図書の子が創建したという。準西国稲毛三十三ヶ所観音霊場第11番札所。参道入口に立つ「いぼとり地藏」は「長沢六地藏」の一つになっている。



- 所在地: 菅生2-28-1
- 交通: 〇聖マリアンナ医科大学入口

32 東泉寺

本尊 曹洞宗表平山 釈迦(しゃか)如来



山門は当寺最古の建造物で、文化7(1810)年に再建された。寺は室町時代に領主・葛山平が平瀬川沿いに建立したのが始まり。準西国稲毛三十三ヶ所観音霊場の「打ち止め寺」。

- 所在地: 平1-7-28 ●交通: 〇平橋

33 薬王庵

本尊 曹洞宗芥志山 如意輪観音

六地藏の間、正面に石造りの如意輪観音像の供養塔がある。塔は「あがり観音」といって、準西国稲毛三十三ヶ所観音霊場巡拝を終えた人々がお参りする。この庵(いおり)は、江戸時代の中ごろの宝暦年間(1761~64年)に三十三ヶ所霊場を開いた山田平七翁ゆかりのもの。12年ごとの午(うま)年に開帳される。

- 所在地: 平4-17-38 ●交通: 〇平

34 川崎市中央卸売市場北部市場

～川崎市民の胃袋は、まかせて～

昭和57年7月1日に、青果物、水産物、花き、関連食品を取扱う総合市場として誕生した。市民に安全で安心な鮮食料品を安定的に供給する役割を担っている。

- 所在地: 水沢1-1-1
- 問合せ: ☎975-2211
- 交通: 〇清水台



魚市場での大物せり

35 川崎市消防訓練センター

～市民を災害から守る～

川崎市消防訓練センターは、訓練塔のほかに屋内訓練場があり、日頃は消防職・団員が、火災・救助・救急等の訓練を行い技術の向上を図っている。



訓練の1コマ

なお、この施設は市内で大規模地震等が発生した時に、緊急消防援助隊として全国から応援に来た消防職員を受け入れる活動拠点としての機能を兼ね備えている。

また、宮前区の消防出初式はここで行われる。

- 所在地: 犬蔵1-10-2
- 問合せ: ☎223-1199
- 交通: 〇犬蔵

36 宮前スポーツセンター

～さあ運動しよう、スポーツセンターで～

大体育室(バレーボール3面、バスケット2面、バドミントン6面可)、小体育室、研修室、ランニングコース等のほか、区民サロンもある。団体利用は原則として事前予約が必要。個人利用できる「スポーツター(卓球、バドミントン等)」やトレーニング室もある。

- 所在地: 犬蔵1-10-3
- 問合せ: ☎976-6350
- 交通: 〇白井坂、犬蔵



外観

大体育室

37 ヨネッティー王禅寺(麻生区)

～余熱利用の温水プールを楽しもう～

尻手黒川道路沿いの宮前区境を少し越えた麻生区にあるスポーツ施設。王禅寺処理センターの余熱を利用した温水プール(競泳、流水、幼児用など)があり、冬でも泳ぐことができる。トレーニングルーム、老人休養施設、会議室などもある。

- 所在地: 麻生区王禅寺1321
- 問合せ: ☎951-3636
- 交通: 〇田園調布学園大学前



温水プール

38 聖マリアナ医科大学病院

宮前区唯一の大学病院で診療科目27、病床数約1,200床を有する。特定機能病院として高度な医療と救急医療等を提供している。



- 所在地：菅生2-16-1
- 問合せ：☎977-8111(代)
- 交通：●聖マリアナ医科大学前

39 菅生こども文化センター

大型の鏡がある集会室、授乳や子育ての相談コーナー、幼児用の小さな訓練トイレのほか、手作りのタイヤ広場や常設の冒険遊び場も備えた特徴あるこども文化センター。建て替えて、区内最新に。

- 所在地：菅生ヶ丘13-2
- 問合せ：☎976-0444
- 交通：●菅生三丁目



40 宮前市民館菅生分館

住民の生涯学習を支援する市の社会教育施設で、集会室・和室・学習室・児童室などがある。利用するには事前に団体登録が必要である。



- 所在地：菅生5-4-11
- 問合せ：☎977-4781 ● 交通：●蔵敷

41 東名トンネルアート

東名トンネル「東京3」「東京4」「東京5」「東京7」(以上平5丁目～南平台)、「川崎1」(犬蔵2丁目)の6ヶ所に地元の中学校(平・向丘・犬蔵の3校)制作の壁画があり、通る人たちをなごませている。

- 交通：●「東京3」「東京4」「東京5」「東京7」：●白幡神社前、東名向丘入口
●「川崎1」トンネル：●犬蔵



「川崎1」トンネルアート

42 浄水場通りの子ども大壁画

浄水場通り沿い(菅生4丁目)に120mにわたる大壁画がある。宮前区誕生25周年を記念して、平成19年8月に「宮前区子ども会連合会」の子どもたちが新装したもの。子どもたちの夢が詰まっており、道行く人たちを楽しませている。

- 交通：●蔵敷団地



43 コミュニケーション・プラザ川崎(NEXCO中日本)

高速道路の歴史や技術などを展示パネルやジオラマ、映像でわかりやすく紹介する施設。見学は無料・要予約。



- 所在地：南平台1-1
- 問合せ：☎866-8730
- 交通：●東名向丘入口

伝承

～菅生太鼓連～

菅生太鼓連の設立は、50年余り前のこと。昭和25(1950)年に長沢・蔵敷を中心とした人たちの努力と浄財を得て、初代大太鼓は完成した。初代大太鼓は、皮の直径3尺(約1m)、重さ450kg、ケヤキの無垢(むく)の大木をくりぬき、すべて職人の手作業で作られた。二代目の大太鼓は更に大きく、太鼓革張面が直径3尺2寸、重さ約650kgの総槽(ひのき)で、台車には油圧ブレーキが付けられている。この大太鼓は、宮前区随一のものであり、菅生神社内で保存・保管している。菅生神社の例大祭では、初山の獅子舞(しまい)とともに、地域の伝統文化を支えている。



新日大太鼓

～初山十王堂～

堂内の版木の記録によると、初山十王堂は江戸時代の元禄年間(1688～1704年)に建立され、天保15(1844)年に当時の世話人6人を中心に盛大に供養が行われたと記されている。



初山十王堂

初山十王堂世話人会では、平成15年8月に「關魔(えんま)大王」「地藏菩薩」などを修復し、開眼供養を行い、その後は地域の子ども会などを通じて、供養を伝承行事として行っている。

- 所在地：初山2-9 ● 交通：●緑地

～五所塚と稚児の松～

五所塚第一公園に塚が5つ並んでいる。昔そのそばに2本の松の老木があり、伝説によると、将門の乱(935年)で戦った朝廷方の5人の将が討ち死にして葬られた墓が五所塚だと言われている。その時に亡くなった稚児の墓の上に植えた松を「稚児の松」と言う。別の伝説では、隣の長尾神社(多摩区)の流鏑馬(やぶさめ)で落馬して命を落とした稚児の墓とも、また、室町時代の末期に、小田原の北条氏と戦った長尾影虎の従者5人が討ち死にした時の塚とも言われている。松の老木は、昭和40年に枯れてしまった。五所塚は付近で最も高いところで、多摩区との境でもあり、昔の村境にある十三塚のような民俗供養塚とも考えられる。



五所塚

昭和33年ころの稚児の松



- 所在地：五所塚1-1-6
- 交通：●五所塚

菅生・平エリア

市境西コース 約6.0km

- 1.6km
- 2.5km
- 1.9km
- 鳥沼駅
- 美しい森公園
- 水沢の森
- 八雲神社

丹沢や富士山を望む市境道

鳥沼駅を起点とした、横浜と川崎の市境道のコース。近年、急激に自然や眺望ポイントが減ってしまった。それでも鉄塔をたどって尾根道を歩くと、季節の移ろいを楽しんだり、丹沢の山々を展望できる。運が良ければ富士山や東京スカイツリーが見えるかも。



菅生・平エリア

1 平瀬川沿いコース 約6.3km

- 2.5km
- 2.1km
- 1.7km
- 向丘出雲所
- 平瀬橋
- 長安寺
- マリanna医科大学病院

2 とんもりコース 約2.8km

- 0.4km
- 1km
- 1.4km
- 初山バス停
- 本蓮寺
- 源生地
- おし沼バス停



平瀬川沿いの緑と歴史を訪ねて

由緒ある寺や神社をめくり、古刹(こさつ)・東泉寺から福宜舞(ねぎまい)の伝承を伝える白幡八幡大神、薬王庵、初山の獅子舞(ししまい)舞台となっている十王堂、桜並木の平瀬川、杉田玄白と関係のある長安寺、菅生太鼓連の本拠となる菅生神社、いぼとり地蔵がある秋月院と平瀬川の両岸が楽しめる①コース。②コースは、越路吹雪の眠る本蓮寺、とんもり谷戸をゆつくりと散策し、生田緑地経由、おし沼・向ヶ丘遊園駅方面へ。



鷺沼公園から東京方面を望む



東名川崎ICの眺め



宮前平駅近くの竹林

菅生・平エリア

犬蔵・土橋コース 約6.2km

2.6km | 1.7km | 1.9km

宮前平駅 | 犬蔵天神社 | 鷺沼公園 | 宮前平駅

コース区画距離

在りし日の竹の里を歩く

宮前平駅から八幡神社に立寄り、土橋神社や正徳寺などを探访する。犬蔵付近で尻手黒川道路を横断し、東名高速道路下を潜り、鷺沼北公園を經由、東名川崎IC横を抜けて宮前平駅へ戻る散歩道。

犬蔵バス停付近が中間点なので、距離が長いと感じる方はそこで中断して2回に分けて散歩すると良いかも。

- 宮崎
- 馬絹
- 土橋
- 神木
- 鷺沼
- 小台



フロントタウンさぎぬま



電車とバスの博物館



馬絹神社

人と緑のまち 鷺沼・宮崎エリア

東急田園都市線3駅、東名IC(インターチェンジ)をかかえ、行政サービス・文化交流・情報発信などの拠点として、人が行き交う。

- 鷺沼・宮崎エリア地図、歳時記 … P38～39
- 東急田園都市線3駅 … P40
- 宮崎台駅、宮前平駅、鷺沼駅
- カッパーク鷺沼 … P41 (鷺沼プール今昔)
- 公園 … P42～43
- ① 県立東あそび森林公園
 - ② 神木公園
 - ③ 宮崎第1公園
 - ④ 宮崎第4公園
 - ⑤ 土橋1丁目公園
 - ⑥ 土橋2丁目公園
 - ⑦ 鷺沼北公園
 - ⑧ 鷺沼公園
 - ⑨ 小台公園
- 自然 … P44～45
- ⑩ サクワ並木
 - ⑪ イチョウ並木
 - ⑫ ユリノキ並木
 - ⑬ ナンキンハゼ並木
 - ⑭ 東名川崎IC付近の花壇
 - ⑮ 小台のイロハカエデ
 - ⑯ 泉福寺のイチョウ
 - ⑰ 泉福寺のサルズベリ

- 神社・仏閣 … P45～47
- ⑱ 泉福寺
 - ⑲ 馬絹神社
 - ⑳ 八幡神社
 - ㉑ 土橋神社
 - ㉒ 正徳寺
 - ㉓ 千手堂
 - ㉔ 神木天満宮
- まちのスポット … P47～49
- ㉕ フロントタウンさぎぬま
 - ㉖ 電車とバスの博物館
 - ㉗ 宮前市民館
 - ㉘ 宮前図書館
 - ㉙ 宮崎小の壁画アート
 - ㉚ 三又の庚申様
 - ㉛ 馬絹古墳
 - ㉜ 宮崎大家
 - ㉝ お化け灯籠
 - ㉞ 川崎市青少年の家
 - ㉟ 宮前老人福祉センター
 - ㊱ ファーマーズマーケットセレスモス宮前
 - ㊲ まじわる宮前
- お散歩コース … P50～53
- ㊳ 大山街道コース
 - ㊴ 馬絹コース
 - ㊵ 長尾・神木コース

公園
自然
神社・仏閣
まちのスポット
お散歩コース
索引

公園
自然
神社・仏閣
まちのスポット
お散歩コース
索引



歳時記

開催日	行事	見どころ・場所など
1月中旬	どんど焼き	だんご焼き、正月飾りの焚(た)き上げ(神木)
2月3日	節分	豆まき(馬場神社P45⑩)
5月4日	我々多市	フリーマーケット・寄席(泉福寺P45⑪)
10月6日	土橋神社例大祭	舞楽舞(おぎまい)、こども神楽(みこし)(土橋神社P46⑫)
10月15日	馬場神社例大祭	神楽・神楽(みこし)・縁日(馬場神社P45⑩)
12月31日	泉福寺の除夜の鐘	除夜の鐘(泉福寺P45⑪)

- 公園** P42~43
 - 1 県立東高根森林公園 P42
 - 2 神木公園 P42
 - 3 宮崎第1公園 P42
 - 4 宮崎第4公園 P42
 - 5 土橋1丁目公園 P43
 - 6 土橋2丁目公園 P43
 - 7 鷺沼北公園 P43
 - 8 鷺沼公園 P43
 - 9 小台公園 P43

- 神社・仏閣** P45~47
 - 11 泉福寺 P45
 - 19 馬場神社 P45
 - 20 八幡神社 P46
 - 21 土橋神社 P46
 - 22 正徳寺 P46
 - 23 千手堂 P47
 - 24 神木天満宮 P47

- まちのスポット** P47~49
 - 25 フロントウなごめま P47
 - 26 電車とバスの博物館 P47
 - 27 宮崎市民館 P48
 - 28 宮崎図書館 P48
 - 29 宮崎小の絵画アート P48
 - 30 三又の夜中探 P48
 - 31 馬場古墳 P48
 - 32 宮崎大塚 P49
 - 33 お化け灯籠 P49
 - 34 川崎市青少年の家 P49
 - 35 宮崎老人福祉センター P49
 - 36 ファーマーズマーケットセラモス宮崎店 P49
 - 37 まじわーる宮崎 P49

- 自然** P44~45
 - 10 サクラ並木 P44
 - 11 イチョウ並木 P44
 - 12 ユリノキ並木 P44
 - 13 ナンキンハゼ並木 P44
 - 14 東名川崎IC付近の花壇 P44
 - 15 小台のイロハカエデ P45
 - 16 泉福寺のイチョウ P45
 - 17 泉福寺のサルズベリ P45



東急田園都市線3駅

～変わりゆく街並み～

宮前区には宮崎台、宮前平、鷺沼の3つの駅がある。昭和41(1966)年に溝の口～長津田間が開通。昭和43(1968)年に東名高速道路が開通すると、東京のベッドタウンとして急速に都市化が進み人口が増加した。現在は、東武伊勢崎線、日光線と相互直通運転を行い、都内から埼玉県、栃木県、群馬県まで一気に行けるようになった。

宮前平駅

*1日平均乗降者数：51,239人
(平成28年度・東急電鉄調べ)

*バス10系統(乗り場5箇所)：野川台、虎の門病院分院、第三京浜入口、白幡八幡、溝口駅南口、鷺ヶ峰営業所、菅生車庫、登戸駅、生田駅、聖マリアンナ医科大学、井田病院、井田営業所、新城駅、宮前区役所

*近隣スポット：宮前区役所、宮前図書館、宮前市民館



撮影：小池 匠さん
昭和38(1963)年の宮前平駅周辺。扉には鶏小屋も見え、右手に八幡旗があって「八幡下」と呼ばれる農家があった。



上の写真と同じ場所、現在の宮前平駅周辺

宮崎台駅

*1日平均乗降者数：48,502人
(平成28年度・東急電鉄調べ)

*バス3系統(乗り場3箇所)：鷺沼駅、宮前平駅、虎の門病院分院

*近隣スポット：電車とバスの博物館、宮前老人福祉センター



撮影：小池 匠さん
昭和40(1985)年の宮崎台駅。写真の駅ホームは現在も使用されている。



毎年宮崎台駅周辺でふる黒さくら祭りが開催されている。

鷺沼駅

*1日平均乗降者数：63,163人
(平成28年度・東急電鉄調べ)

*バス10系統(乗り場4箇所)：梶が谷駅、宮崎台駅、グリーンハイツ中央、小杉駅前、新城駅前、東山田営業所、井田営業所、センター北駅、センター南駅
深夜バスのみ：虹が丘営業所、青葉台駅

*近隣スポット：フロントタウンさぎぬま、カッパーク鷺沼



現在の鷺沼駅

カッパーク鷺沼

(鷺沼プール今昔)

～市民の水がめの上にプールがあった～

昭和41(1966)年の東急田園都市線の開通による住宅開発に伴い、昭和42(1967)年10月、鷺沼駅の線路沿いに、川崎市水道局鷺沼配水池が設置された。その規模は、112,600㎡の貯水容量をもち、川崎市内の80万世帯に水道水を供給している。配水池の水槽は2つに仕切られており、その一つは災害時の応急給水池の役割も担っている。配水池屋上部を有効活用するため、昭和43(1968)年7月に屋外プールがオープンし、評判を呼び、都内を含め東急田園都市線沿線の各地からの来場者が10万人を前後する年が経いたが、その後、大規模な行楽施設が増えて利用者が減ったため、平成14(2002)年10月に廃止された。プール跡地は、平成18(2006)年4月に東から教育ゾーン、広場・公園ゾーン、運動施設ゾーン、福祉ゾーンの4つのゾーンに分けられ、活用されるようになった。これらを総称して区民公募により「カッパーク鷺沼」と名付けられた。



「カッパーク鷺沼のイメージキャラクターカッチャン」

～土橋小学校(教育ゾーン)～

川崎市内で18年ぶりの新設校となる「土橋小学校」が平成18年4月に開校された。土日の図書館開放や、豊緑団体への多目的ホールの貸し出しなど、学校行事に支障のない範囲で学校施設を開放している。

多目的ホール開放(有料)：利用方法などは以下に問合せが必要。

●問合せ：土橋小学校 ☎865-1532

図書館開放：原則として毎週日曜日と隔週土曜日の午前10時～午後2時

●問合せ：川崎市教育委員会 生涯学習推進課 ☎200-3303(平日のみ)

～鷺沼ふれあい広場(広場・公園ゾーン)～

入口から階段やスロープを利用して「せせらぎゾーン」へ。夏には子どもたちが「じゃぶじゃぶ池」で水遊びを楽しんでいる。「芝生ゾーン」は芝生が一面に植えられ、周りの園路には距離表示がされており、ウォーキングにも良い。「草っぱゾーン」はピオトープと草原があり、自然を感じることができる。土のグラウンドはボール遊びも楽しめる。鷺沼駅から近く多くの親子連れでにぎわう。(芝生じゃぶじゃぶ池、ピオトープなど、季節により利用制限あり)

開園時間：午前7時～午後5時

(6月～8月は午後7時まで)



～フロントタウンさぎぬま(運動施設ゾーン)～

人工芝のコート6面を有する関東では最大級のフットサル施設。フットサル以外にも市民の健康維持を目的としたウォーキングや体操教室、まつり(春・夏・冬)を開催し地域の人たちに親しまれており、平成22(2010)年12月には宮前区とまちづくり連携協定を結んでいる。(P47参照)

～福祉ゾーン～

平成18(2006)年に認可保育園が開設。平成21(2009)年3月に高齢者施設として、地域密着型特別養護老人ホームや小規模多機能型居宅介護、認知症対応型デイサービス、住宅型有料老人ホーム、精神障害者施設として生活支援センター及び地域のグループ・団体が利用できる地域交流スペースができた。

1 県立東高根森林公園

～川崎市内唯一の県立公園～

公園内には、県指定の史跡「東高根遺跡」が眠る古代芝生広場や、県の天然記念物に指定されたシラカシ林、湿性植物園、クヌギヤコナラに囲まれたピクニック広場、古代植物園などがあり、広々とした敷地の中に変化に富んだ見どころが数多くある。また四季を通じてさまざまな花を楽しむことができる。年に12回開かれる自然観察会のほか、田植え、工作教室、餅つきを行う収穫感謝祭などのイベントがあり、行事に参加するのも楽しみの一つである。

- 所在地：神木本町2-10-1
- 交通：● 神木本町、森林公園前
- 面積：122,489㎡
- 設備：● トイレ・駐車場(3月～11月の土・日・祝日は有料)・パークセンターなど
- 問合せ：パークセンター ☎865-0801



2 神木公園

敷地内の小高い丘には遊具があり、放課後にはたくさん子どもたちが遊びにやってくる。砂場やブランコなどもある。この公園は、地元ボランティアが美化に努めており、表彰されたこともある。

- 所在地：神木1-4 ● 交通：● 神木
- 面積：4,870㎡ ● 設備：遊具・水道など



3 宮崎第1公園

宮前区の少年野球の中心地で、週末には元気な子どもたちの歓声があふれる。敷地内には宮崎こども文化センターがある。

- 所在地：宮崎1-7
- 交通：● 宮崎台駅
- 面積：14,739㎡
- 設備：遊具・水道・トイレ
少年野球場など



4 宮崎第4公園

広い敷地は、少年野球や遊具などのある運動広場と宮前平こども文化センターが建っている里山広場とに分かれている。放課後にはサッカーボールを蹴ったりする子どもたちの元気な姿が見られる。

- 所在地：宮崎6-2-3
- 交通：● 宮崎第四公園入口、宮崎第四公園
- 面積：20,593㎡
- 設備：遊具・水道・トイレ
少年野球場など



5 土橋1丁目公園

階段やスロープを上がると、樹木が生い茂り中央部には小山がある。公園の特性を生かし、不定期だが冒険あそび場が開催される。

- 所在地：土橋1-20 ● 交通：● 宮前平駅
- 面積：5,333㎡ ● 設備：遊具・水道など



6 土橋2丁目公園

見渡しやすい、保護者の目が届きやすい。公園下方の桜並木が美しい。町内会や子ども会などの行事に利用されている。

- 所在地：土橋2-13-1 ● 交通：● 鷺沼駅
- 面積：4,345㎡
- 設備：遊具・水道・トイレなど



7 鷺沼北公園

標高は87.4mと高く、晴れた日の見晴らしは抜群。東京タワーと東京スカイツリーを同時に見ることができる。

- 所在地：鷺沼4-11-15 ● 交通：● 鷺沼駅
- 面積：4,797㎡ ● 設備：遊具・水道など



8 鷺沼公園

カラフルで大きな遊具などのある上の広場と、下の運動場とに分かれており、多くの親子連れでにぎわう。バリアフリーの水洗トイレも備えられている。

- 所在地：鷺沼2-10-1 ● 交通：● 鷺沼駅
- 面積：15,337㎡
- 設備：遊具・水道・トイレなど



カラフルな遊具

9 小台公園

公園の中は、ボール遊びをする子どもたちの明るい声が絶えない。周りは桜に埋めつくされ、花見の季節にはお弁当を広げる多くの人々でにぎわう。

- 所在地：小台2-24
- 交通：● 宮前平駅、鷺沼駅
- 面積：6,562㎡
- 設備：遊具・水道など



10 サクラ並木

宮崎台駅前のさくら坂。そして鷺沼駅前～たまプラーザ駅(横浜市青葉区)まで続くサクラ並木。「桜」は宮前区を象徴する街路樹だ。4月初旬には、「宮崎台ふる里さくら祭り」と「さざさくらまつり」のパレードや大道芸の会場となり、終日にぎわいを見せる。桜～新緑～紅葉と、四季の変化を身近に感じられる並木道である。

●所在地: 宮崎台駅～宮前平駅～鷺沼駅近辺



11 イチョウ並木

イチョウ並木は、宮崎台駅の近くから宮前区役所前、土橋、鷺沼、有馬へと続く。秋、黄金色の葉が鮮やかで、他の街路樹が葉を落とした後まで、長く葉の色を楽しめる。

●所在地: 宮崎台駅～宮前区役所～土橋～鷺沼～有馬



12 ユリノキ並木

宮前平駅から区役所まで続く、ユリノキ並木道。5～6月ごろ、モクレン科の白い花が咲く。花の形がチューリップに似ていることから、

チューリップツリーともいわれる。晴れた日には富士山が見える場所もある。

●所在地: 富士見坂(宮前平駅から区役所まで)



13 ナンキンハゼ並木

尻手黒川道路沿いにナンキンハゼ通りが続く。丸い葉の形で、冬につける実は白く、ポップコーンのようでおもしろい。秋には、黄～オレンジ～赤へと鮮やかな紅葉となり、クリスマスリースにともらっていく親子連れも。

●所在地: 金山陸橋～清水台(尻手黒川道路)



14 東名川崎IC付近の花壇

川崎の北の玄関、東名川崎IC前を明るく彩る。四季を通じて花がきれいに見えるように、地域の人々が協力して手入れをしている。

●所在地: 土橋6-10付近 ●交通: 土橋



15 小台のイロハカエデ

宮前平から小台へ向かう坂の途中、竹林を過ぎた先の民家にある。新芽のやわらかい緑から秋の紅葉まで、季節を通じて道のアクセントになっている。川崎市まちの樹50選。

●所在地: 小台1丁目



16 泉福寺のイチョウ

樹齢700年ともいわれ、江戸時代の奉納相撲の絵馬にも、このイチョウの姿が描かれている。川崎市まちの樹50選、樹高約15m。

●所在地: 馬絹2-9-1

●交通: 東平台



17 泉福寺のサルスベリ

百日紅(サルスベリ)という名のとおり、夏にはピンクの花がこぼれるほどに咲き乱れる。樹齢約400年で、自然のままに生長した幹や枝のうねるような樹形が味わい深い。川崎市まちの樹50選、樹高7m、目通り2.4m。

●所在地: 馬絹2-9-1 ●交通: 東平台



18 泉福寺

本尊 天台宗 平泉山 不動明王

●祭礼 花供養(8月17日) 除夜の鐘(12月31日)

創建は不詳だが義天法印が開いたと伝えられている。境内の薬師堂にある薬師如来像は、嘉永元(1848)年に用水堀の清掃中に出現したという記録が残っている。その信仰を物語る大絵馬「薬師会図」「境内相摸図」は、川崎市の重要歴史記念物に指定されている。準西国稲毛三十三ヶ所観音霊場第26番・26番札所であり、また酉(とり)年開帳の武相不動尊二十八札所第23番でもある。境内には花供養塔があり、みことなイチョウとサルスベリは保存樹に指定されている。

●所在地: 馬絹2-9-1

●交通: 東平台



19 馬絹神社

祭神 伊弉冉尊(いざなみのみこと)

●祭礼 例大祭(10月15日)

古くは女躰権現社(よたいごんげんしゃ)と称する。明治末期に八幡神社、熊野神社などを合祀(ごうし)し、神明社と改称。その後、馬絹神社になる。境内に富士塚、二十三夜塔がある。例大祭は、神輿(みこし)、神楽、縁日で賑わう。

●所在地: 馬絹5-21-5 ●交通: 馬絹神社前



20 八幡神社

● 祭神 応神天皇

● 祭礼 秋季例大祭(10月15日)

こんもり茂った木立の中の急な石段を上ると、社殿が建っている。江戸時代に編纂された『新編武蔵風土記稿』には、「旧土橋村と馬絹村との境であった」と記されている。古くから小台の住民が守ってきた神社で、「小台の八幡神社」とも呼ばれてきた。明治39(1906)年、馬絹神社に合祀(ごうし)されたが、後に現在の場所に戻された。右隣には小台稻荷神社がある。石段の途中に石段供養塔があり、石段の下には正徳4年銘の庚申塔がある。

● 所在地: 宮前平2-15-2

● 交通: 宮前平駅



21 土橋神社

● 祭神 天照大神(あまてらすおおみかみ)

● 祭礼 夏祭り(7月14日) 例大祭(10月6日)

江戸時代の創建と言われる。当初は八雲神社が建てられていたが、明治43(1911)年に土橋村の御嶽社・八幡宮・稻荷社・神明宮など10社を合祀(ごうし)して土橋神社になった。例大祭には、白幡八幡大神の宮司によって禊祓舞(ねぎまい)が行われる。

境内には蛭影尊(こかげそん)や地神塔など養蚕や農業に関する石造物があり、石段の中腹から入る道路の奥には、2体の庚申塔がある。

土橋の養蚕は明治末期から大正前期にかけて盛んであった。

● 所在地: 土橋1-10-2 ● 交通: 宮前平駅



22 正福寺

● 本尊 天台宗 医王山法華院 薬師如来

● 祭礼 花祭り(4月8日) 施餓鬼会(8月12日)

江戸時代中期に了庵聖梨が開山したと言う。調布市にある深大寺の末寺。当初、土橋2丁目付近にあったが、江戸時代末期に火災に遭い第六天社とともに焼失、現在地に再建された。寺の入口左側にある馬頭観音の道標は王禅寺道から移されたもので「南大山道・東二子道・北登戸道・西王禅寺道」と記されている。稲毛七葉師霊場第3番札所で、興(とら)年の4月に開帳される。

● 所在地: 土橋6-2-8 ● 交通: 土橋



23 千手堂

● 本尊 天台宗 神木山 千手観音

● 祭礼 花祭り(5月8日)



開山、開基は不詳。多摩区にある天台宗長尾山妙楽寺の境外地仏堂として、古くから地域の人々が守ってきた。準西国稲毛三十三ヶ所観音霊場第29番札所である。なお、近くにあ

る神木観音堂(神木本町2-11-21)は第28番札所、土橋観音堂(土橋6-8-6)は第30番札所。ひと月遅れの花祭りには、花御堂の屋根や四柱に藤の花などを飾って祝う。

● 所在地: 神木本町3-11-3

● 交通: 神木公民館

24 神木天満宮

● 祭神 天照大神(あまてらすおおみかみ)

● 祭礼 どんと焼き(1月中旬) 例大祭(9月15日)

以前は等覚院

の境内にあったが、文政12(1829)年に赤城神社が再建された際、現在の地に移された。明治41(1909)年、赤城神社は長尾神社に合祀



(ごうし)されたが、天満宮は谷長尾(やとながお)の鎮守として残された。戦後、地域住民の願いで社殿が再建された。境内には江戸時代後期に建てられた庚申塔がある。

● 所在地: 神木本町3-4-36

● 交通: 神木公民館

25 フロントタウンさぎぬま

川崎市をホームタウンに「スポーツ文化の振興およびスポーツによる地域社会への貢献」を理念として、1996年11月に設立した、プロサッカーリーグ(Jリーグ)所属の川崎フロンターレ。そのフロンターレが「ホームタウンである川崎市に、家族や地域で気軽に楽しみ、より身近に感じるフットサルの場や機会を設けることで、フロンターレの街を広げていきたい」との思いから、2006年3月に設立した。

● 所在地: 土橋3-1-1

● 問合せ: ☎954-0210

● 交通: 鷺沼駅



26 電車とバスの博物館

昔の電車やバスの車両が置かれ、乗り物の歴史や仕組みが学べるほか、電車のパノラマ模型や電車・バスの運転体験ができるシミュレータなどがある。子どもたちに人気。

● 所在地: 宮崎2-10-12

● 問合せ: ☎961-6787

● 交通: 宮崎台駅



27 宮前市民館

宮前市民館は、宮前図書館との複合館（宮前文化センター）内にある。市民の自主的な学習・文化活動を支援する、生涯学習施設。学習や発表のための施設提供や、各種学級講座を開設している。学習サークル情報の提供、教材・機材の貸し出しも行っている。

- 所在地：宮前平2-20-4
- 問合せ：☎888-3911
- 交通：●宮前区役所前



28 宮前図書館

～「読書のまち・かわさき」

伸びている図書館利用・生涯学習活動～

市民の旺盛な資料・情報利用の意欲と関心の広さで伸びている図書館利用。ますます多くの図書館資料が、多様な機会を通じて、市民生活、地域社会に浸透し、生涯学習や市民活動に貢献している。自動車文庫車両（たばな号）が区内4ヶ所を巡回している。

- 所在地：宮前平2-20-4
- 問合せ：☎888-3918
- 交通：●宮前区役所前



美しい森公園での自動車文庫

29 宮崎小の壁画アート

旧国道246号を通ると、宮崎小学校の壁画が目にとまる。感性豊かな生き生きとした作品は、今にも道路に飛び出してくるようだ。

- 所在地：馬絹1-30-9 ● 交通：●宮崎小学校



30 三又の庚申様

以前は、現在の宮崎3丁目の三差路にあったが、昭和16年ごろ旧陸軍東部62部隊の軍用地として接収されたとき、33軒の農家とともに、現在の場所に移転した。今でも、地元の人々から厚く信仰されている。

- 所在地：馬絹3-20先
- 交通：●宮前休日診療所



31 馬絹古墳



昭和46年に発掘された。7世紀に造られた直径33m、高さ4.5mの円墳で、横穴式石室は市内最大の規模であり、県の史跡に指定されている。古代朝鮮の高句麗の影響を受けていることで注目されている。

- 所在地：馬絹5-21-14 ● 交通：●金山

32 宮崎大塚

高さ5.5m、直径25mであるが、円墳か方墳か不明。武器の隠し場所、物見塚などの諸説がある。かつて大山街道を往来する人々のよい目印になっていた。

- 所在地：宮崎153先 ● 交通：●大塚



33 お化け灯籠

もとは都内港区六本木から移動した旧陸軍



東部62部隊の将校集会所にあった。当時、夜になると灯籠が化けて六本木界わいに出発するという噂が立ち、足を切られてしまった。部隊の兵舎は現在の「川崎市青少年の家」に移転、灯籠も足のないまま移された。化けて

でるかどうかは定かでない。「川崎市青少年の家」の敷地内にある。

- 所在地：宮崎105-1
- 交通：●大塚、虎の門病院分院

34 川崎市青少年の家

団体の宿泊研修を通じて社会性を身につけ、情操を豊かにし、心身ともに健全な青少年の育成を図ることを目的とする社会教育施設。宿泊施設、プレイホール、音楽室、研修室、野外炊飯、児童用プールなどがあり、日帰りの利用も可能。事前に問い合わせを。

- 所在地：宮崎105-1
- 問合せ：☎888-3588
- 交通：●大塚、虎の門病院分院

35 宮前老人福祉センター

高齢者の生きがいづくり、健康づくりを支援するための施設で、愛称は「宮前いきいきセンター」。川崎市内在住の60歳以上であれば、誰でも利用できる（登録制）。クラブ室、図書貸出、大広間、センター主催事業の他、登録団体への貸室も行っている。

- 所在地：宮崎2-12-29
- 問合せ：☎877-9030
- 交通：●宮崎台駅



36 ファーマーズマーケット セレサモス宮前店



市内でとれた新鮮な農産物を中心に販売する大型農産物直売所。地産地消で地元の農を応援したい。

- 所在地：宮崎2-1-4
- 問合せ：☎853-5011
- 交通：●宮崎台駅

37 まじわる宮前



馬絹の交差点付近にある、宮前区障害者福祉拠点施設と宮前地区会館が合築した施設。1階にはベーカリーカフェも併設されている。

- 所在地：馬絹6-10-33
- 問合せ：☎866-6360(宮前地区会館)
- 交通：●馬絹

鷺沼・宮崎エリア

大山街道コース 約5.8km

2.8km 1.1km 1.9km

梶が谷駅 宮前平駅 鷺沼交差点 うとう坂下

コース区間距離

東海道の裏街道の歴史を偲(しの)ぶ

大山街道は矢倉沢往還ともよばれ大山登拝後の富士山、富士登拝後の大山詣でも利用されていた。矢倉沢往還は江戸へ物資を運ぶ役割を果たしており、駿河の茶・綿、伊豆のワサビ・シイタケ・干し魚、桑野からは煙草、厚木からは相模川の鮎などを江戸に運んでいた。

土壌の八幡坂は急傾斜のうす湯(わ)き水があり、手車の往來に難儀した。しばしば土砂崩れを起し、交通ルートを変更している。都市開発で坂は消滅し、その東側40mほどの場所に新道が作られている。坂の名前は、昔にある八幡神社に由来する。

坂の上側になるほど急傾斜で道幅が狭かった。坂の半ばにある土手からは清水が湧(わ)き出し、旅人の喉を潤していた。坂の壁には「下の店」があり、茶・地酒・菓料(わらじ)などを売っていた。その壁には華西園毛織三十三ヶ所観音堂26尊礼所もあった。明治時代中期に長雨のため坂が崩れ道行が困難になったため、高山から日国道246号を利用して宮崎に迂(う)回していた。高山からは、秋から冬にかけて晴天の日に品川の海や多摩川の帆掛け舟が眺望できたという。

元禄元年(1689) 高の地蔵尊・阿弥陀仏がある。疫病で亡くなった幼児の供養と病氣回復を祈って建てられた。

牛久保のうとう坂は急坂で知られている。以前、両側には榎木や竹が茂る里山が広がっていた。坂の西方から大山・丹沢・富士山を好景観できたが、近年、新集住宅が立ち並び景観を損ねている。坂の頂上近くには榎木農家の菅川屋があるが、以前、大山街道の休憩所である「立場」を開いていた。坂の下方は血汗坂の指定地の一つであり「新編武蔵風土記稿」では旅人の宿場施設を記しているが、実際には関東ロームから湧(わ)き出した茶色の濁(にご)り水が作った茶色の濁き水である。

有馬の八幡坂は急傾斜のうす湯(わ)き水があり、手車の通行に難儀し批評しを付けた。坂の中心には馬の医者である伯耆や聖床。坂の壁には菓子・茶・菓料(わらじ)を売る「出店」があり、季節には菓子屋も店を開いた。また坂の中心からは、鎌倉街道の支線が土壌を経由して形跡(たすがた)山に向っていた。天保2(1831)年、東叡山は大山街道を厚木まで歩いているが、途中、「出店」に立ち寄り夜田宿までの道程を尋ねていた。その時、里山には有馬の馬を飼っていたが、そのスケッチは「吾相日記」に記されている。坂の名前の由来になった八幡前は「福村」と言う屋号の駒田家に移されている。

昭和16(1940)年陸軍東部82部隊の援隊に伴い、32軒の農家と庚申堂は現在の宮前休日急急歩道所付近に移転。大山街道の最時には、相模川の氾濫を夜通し走り江戸まで運ぶ「脚指ぎ」の人足が、早朝、庚申堂で車輪(わらじ)を履き替えお湯(ぬ)り湯をあげ湯口の湯屋に向っていた。三又は「馬絹の杖巻」で知られた「むら」を使い、梅・桜など早咲きの花木を育てるようになった。

6世紀頃に築造された円墳と言いますが、未調査のため詳細は不明。武蔵の隠し場所、抱見塚、鎌倉街道の一里塚など説がある。大山街道が盛んに使われた時代には住まざる人びとの目撃になった。王澤寺道の起点になっている。



宮崎大塚



牛久保の大山街道

宮前区の大田街道 豆知識

宮前区内の大田街道は、昭和30年代以降に始まった大規模な都市開発のため多くの区間が消滅した。宮崎大塚から庚申坂上、小台坂から鷺沼、有馬の八幡坂にルートが残されている。しかし、道路は拡張され坂は緩やかに改良されているため、ガイドブック無しには歩くことが難しい。それでも馬絹の三又や有馬は詳細に観察すれば民家が建てられた向きから、在りし日の大山街道を偲(しの)ぶことができる。宮前区は多摩丘陵に位置するため、庚申坂・札野坂・土壌の八幡坂・小台坂・有馬の八幡坂が連続し、いずれも開発前は急傾斜であり、大山街道の難路であった。

矢倉沢往還

矢倉沢往還の大山街道は、30以上ある大山街道を代表する道である。起点の幸坂門から大山まで70数kmの道程であった。然(た)る(ら)し、用資を経たあと子溝口・窪田・長津田・下鶴岡・厚木などの宿場を通り大山に達していた。途中、多摩川は二子の渡しで、相模川は厚木の渡しで渡っていた。江戸から大山までは通常2泊3日の行程であった。大山には高(たか)い・豊作・豊満・奇秀・奇英・航海安全・家内安全などを祀(まつ)った。盛時には榎島原の餅屋、新沼原の魚屋、長野原の佐久・板本地方、山梨県、静岡県、伊豆諸島から参詣者が訪れた。

矢倉沢往還は、慶長6(1601)年に徳川家康が整備した東海道の脇道である。東海道は大名・武士が多く使い、表街道的な存在であったのに対し、矢倉沢往還は農民・商人が多く通行する道であり、道徳的な存在であった。しかし、駿河の茶・綿、伊豆のワサビ・干し魚、桑野の煙草・相模川の鮎などの物資を江戸に供給する重要な役割を果たす生活道路であった。



宮前区について 公園 自然 神社・仏閣 まちのスポット お散歩コース 索引



鶯沼・宮崎エリア

馬絹コース 約4.2km



矢上周辺歩き

矢上川と尻手親川道路を中心に広がる北部と南部の丘陵を歩き、馬絹地域のほぼ半分を歩くコース。北部丘陵地域にある馬絹古墳は7世紀のもので、横穴式石室は市内最大規模。馬絹の「花づくり」の伝統を伝える温室である。



鶯沼・宮崎エリア

長尾・神木コース 約5.7km



花の縁の寺々

宮前区の北東部にある高津区と多摩区の区境を歩くコース。途中、東高根森林公園、等覚院、五所塚、妙楽寺などの見どころがある。地形の起伏もあり、四季折々を楽しめる散歩道。

みやまえカルタ

～楽しみながら地域を知ろう～

みやまえカルタは、カルタづくりを通して、子どもから大人まで幅広い世代がかかりながら地域の「資源」を掘り起こし、宮前区の「宝」「顔」へと進め、区民に地域への愛着を深めてもらおうと、区民会議の提案を受け作成された。

元々あった野川ふるさとカルタを参考に、各小中学校や区民に各地域の読札や絵札を募集し選考を行い、平成23(2011)年に各中学校区版(菅生・宮崎・平・宮前平・有馬・向丘・犬蔵)が完成した。また、各中学校区版から札を集めた宮前区誕生30周年記念版のカルタも作成された。

カルタは、区内小中学校やこども文化センターなどの公共施設に配布され、活用されているほか、区役所で販売(1,000円)、貸出を行っている。また、通常サイズだけでなく、より楽しんでいただけるようジャンボカルタ(A3判)も用意し、地域イベントや学校教材として貸出をしている。

●問合せ：区役所地域振興課
☎856-3134

各中学校区の
カルタが
勢ぞろい



宮前区の講

区内の各地には江戸時代中期以降、大山・御嶽・富士・三峰・榛名などの講が作られ、

相模の大山、奥多摩の御嶽、富士山などに参詣していた。これらの講は、農業・商業など民間の信仰に根ざしたものである。講を代表するものには、大山講・御嶽講がある。

大山講

江戸時代中期の宝暦年間から、関東地方はもとより、福島の磐城、新潟の魚沼、長野の佐久・松本、山梨全域、静岡の伊豆・駿遠、伊豆諸島の八丈島などの各地方から大山詣でが行われてきた。大山詣では、雨乞い・豊漁・豊作・商売繁盛などを願う目的で行われてきた。区内を通る大山街道は、約30ある大山道を代表する道である。起点の赤坂御門から世田谷・溝口などを経て、宮前区の馬絹・土橋・有馬などを通過したあと、荏田・長津田・厚木を経て大山に向っていた。大山詣では大山の夏祭りが開かれる20日間に行われたが、この期間に多くの参詣者が大山街道を歩き大変賑わった。沿道の要所には常夜灯が立てられ、夜間に通行する参詣者の安全を守っていた。宮前区からの大山詣では夜に出発し、翌日、大山の宿坊に泊まり、先導師の案内で登拝し、その日のうちに帰宅していた。

御嶽講

御嶽講は大山講と同様に、集落を代表して代参者が参詣することが多かった。代参者の費用を捻出するため、米・麦などを集めて売却することも行われた。奥多摩の御嶽山の宿坊に泊まり、御師の先導で参拝しお礼をもらおうと、講の参加者に代参札を配り、隣近所には「武蔵国御嶽山大口真神」として刷られた、お犬様のお札を盗難除けのお守りとして渡した。また、品川・羽田方面からの参詣者は、多摩川沿いに上り、中原街道から野川に入り、横大道から有馬の峯道(みねみち)を経て、菅生の川崎・横浜市境道を通り、麻生区の高石に抜け、御嶽山に向っていた。



矢上川に小鵜



影向寺



野川の梅



歴史と緑の里



有馬・野川エリア

丘陵に広がる植木の里、水田をはぐくむ2つの川。天平の名刹(めいさつ)・影向寺や、古道のあちこちに佇(たず)む巡拝塔や庚申塔に、いにしえから伝わる信仰に思いを馳(は)せる。

- 有馬・野川エリア地図、歳時記… P56～57
公園 …………… P58～59
①有馬ふるさと公園 ②有馬中央公園 ③有馬こども公園 ④有馬さくら公園 ⑤南野川ふれあいの森 ⑥野川ふれあいの森
自然…………… P59～62
⑦影向寺のイチョウ ⑧影向寺のサルズベリ ⑨東有馬2丁目のカキ ⑩野川 梅の里 ⑪下有馬不動尊周辺のウメ ⑫有馬さくら公園のサクラ ⑬東有馬のハナミズキ ⑭つげ・もみじの里 ⑮野川のケヤキとトチノキの並木 ⑯有馬のトウカエデ並木 ⑰中野有馬のユリノキ並木

- 神社・仏閣…………… P63～65
⑱影向寺 ⑲龍淵寺(高津区) ⑳野川神明社(摩駄牟社)
㉑西蔵寺 ㉒長壽寺 ㉓下有馬不動尊 ㉔有馬神明神社
㉕福王寺
まちのスポット…………… P66～67
㉖JR梶ヶ谷貨物ターミナル駅 ㉗JR梶ヶ谷貨物ターミナル駅下のトンネルアート ㉘子育て地蔵 ㉙十三坊塚
㉚有馬大塚 ㉛アリーナ(有馬・野川生涯学習支援施設)
㉜富山スポーツプラザ ㉝宮前休日急患診療所
お散歩コース…………… P68～71
峯道(みねみち)・有馬南コース、有馬北コース、
たちばなの里・野川コース



公園 P58~59

- 1 有馬ふるさと公園 P58
- 2 有馬中央公園 P58
- 3 有馬こども公園 P58
- 4 有馬さくら公園 P58
- 5 南野川ふれあいの森 P59
- 6 野川ふれあいの森 P59

自然 P59~62

- 7 影向寺のイチヨウ P59
- 8 影向寺のサルスベリ P60
- 9 京有馬2丁目のカキ P60
- 10 野川 柳の里 P60
- 11 下有馬不始草周辺のウメ P60
- 12 有馬さくら公園の桜 P61
- 13 京有馬のハナミズキ P61
- 14 つげ・もみじの里 P61
- 15 野川のケヤキとトチノキの並木 P62
- 16 有馬のトウカエデ並木 P62
- 17 中有馬のユリノキ並木 P62

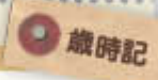
神社・仏閣 P63~65

- 11 影向寺(ようごうじ) P63
- 19 龍洞寺(高津区) P63
- 20 野川神明社 P64
- 21 西園寺 P64
- 22 長善寺 P64
- 23 下有馬不始草 P65
- 24 有馬神明神社 P65
- 25 福王寺 P65

まちのスポット P66~67

- 26 JR横ヶ谷貨物ターミナル駅 P66
- 27 JR横ヶ谷貨物ターミナル駅下のトンネルアート P66
- 28 子育て地蔵 P67
- 29 十三坊壇 P67
- 30 有馬大塚 P67
- 31 アリーノ(有馬・野川生涯学習文化施設) P67
- 32 富山スポーツプラザ P67
- 33 富前休口温泉診療所 P67

開催日	行事	見どころ・場所など
1月1~3日	影向寺新年	茅渟三尊ご懸帳(影向寺P63㊦)
3月下旬	長善寺植木供養祭	団子(だんご)焼き(長善寺P64㊦)
10月第1日曜日	有馬神明神社例大祭	神輿(みこし)・山車(だし)(有馬神明神社P64㊦)
10月体育の日の前日	野川神明社例大祭	神輿(みこし)・練日・演芸会(野川神明社P64㊦)
11月3日	影向寺御縁日	聖徳太子供養会・練日・茅渟三尊ご懸帳(影向寺P63㊦)
12月31日	影向寺の除夜の鐘	除夜の鐘(先着108名が鐘をつく)影向寺P63㊦)





1 有馬ふるさと公園

住宅街の広場があるような公園と違い、正面を入ったところに遊具があり、そこから階段を上ると、クヌギやコナラなど多摩丘陵の面影をしのぼせる原生林がうっそうと茂っている。また、この公園は冒険あそび場としてイベントが催され、自主保育の人々や近隣の子どもたちで賑わっている。

●所在地：有馬8-26-1

●交通：●三田橋

●面積：11,853㎡

●設備：水道・ベンチ・遊具



2 有馬中央公園

住宅街にある広々とした公園。地域のさまざまなイベント(盆踊りなど)の会場としても利用されている。また子育て中の親子連れやペットの散歩場としても交流の場になっている。周辺には樹木も多く、四季折々の変化が楽しめる。

●所在地：有馬4-15-1 ●交通：●三田橋

●面積：8,375㎡

●設備：水道・ベンチ・遊具・トイレ



3 有馬子ども公園

住宅街の中にある見通しの良い公園。周囲にネットが張っており、ミニスコアボードも設置してある。少年たちが野球やサッカーに興じている。また近年、遊具や砂場が設置され、子育て中の親子連れでも賑わっている。

●所在地：有馬8-9-1

●交通：●中有馬、神明神社

●面積：4,295㎡

●設備：水道・ベンチ・遊具・トイレ



4 有馬さくら公園

名前の通り、桜で有名な有馬9丁目にある公園。公園の西斜面一帯に数十本の桜の木が広がり、4月には花見客で賑わう。斜面上には鉄塔もあり、見晴らしもとてもよい。9丁目のもう一つの公園「しいのき公園」とこの公園は、子どもたちと公園愛護会の手で花壇の寄せ植えが行われている。

●所在地：有馬9-6

●交通：●鶴沼駅

●面積：6,008㎡

●設備：水道・ベンチ・遊具



5 南野川ふれあいの森

～自然を体感する絶好の場所～

「南野川ふれあいの森」は、野川台地の斜面の雑木林を、種火人の手を加えず自然のままに維持しつつ、子ども達が遊び、いろいろな人々が集い、自然を体感する場。市民ボランティアグループ「野川はあも」では、毎月第一日曜午前10時から、森が若返るための伐採や下草刈り、倒木の整理、落葉かきなどの作業を行い、緑を育て、守る。大人も子どもも誰でも参加でき、森の中の昆虫や植物を観察したり、椎茸(しいたけ)栽培などの活動をして楽しんでいる。

●所在地：野川2815 ●交通：●稲荷坂

●面積：9,045㎡



6 野川ふれあいの森

～自然を生かした子ども達の格好の遊び場～



野川の南東、第三京浜道路の西側の標高26～44mの台地の端にある。公園はすり鉢状で、急斜面を、丸太で作られた階段と手すりを伝って草の広場を下り立つ。自然そのままに、

あまり手が加えられておらず、子ども達がいろいろな遊びを工夫できる楽しい空間。広場の一角に桜の大木が1本、春にはカシやクヌギの若葉の中に一際映えて美しい。

●所在地：野川2350 ●交通：●久末

●面積：3,752㎡

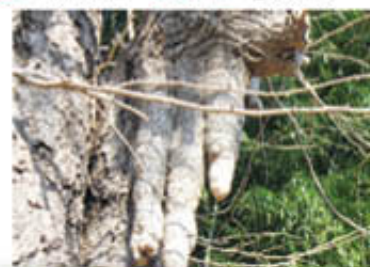
7 影向寺のイチヨウ

本堂右手にあるイチヨウは、樹高28m、胸高周囲8.0m、推定樹齢約600年の堂々たる古木で、平成15年に「川崎市まちの樹50選」に指定されている。

イチヨウは

古木になると気根が幹や枝から乳房みたいにたれることがあり、乳柱と呼ばれるが、このイチヨウにも多くの乳柱がついている。乳の出なかった母親が影向寺の薬師さまに祈願したところお告げがあり、お告げどおりに乳柱を煎じて飲んだところ、乳が出るようになったという民話がある。乳しぼりの絵馬も多く残されており、川崎市市民ミュージアム(中原区)で見ることが出来る。

●所在地：野川419 ●交通：●影向寺



乳柱



乳しぼりの絵馬



8 影向寺のサルスベリ

阿弥陀(あみだ)堂の右手前に、「川崎市まちの樹50選」に指定されている樹齢200年以上のサルスベリの大木があり、8月には赤い花を咲かせる。



本堂の前にも樹齢100年以上の形の美しいサルスベリが2本ある。

●所在地：野川419

●交通：●影向寺

9 東有馬2丁目のカキ

有馬東耕地公園北側に後谷(うしろやと)が東西に広がり、野菜畑やビニールハウスによる果樹栽培が行われている。その谷戸の北側、南斜面に沿う古くからある農家の庭先には樹齢100～200年を越すカキの木が数本あり、秋にはいまでも実をつける。禅寺丸という甘ガキだ。

●所在地：東有馬2-10～18

●交通：●東有馬第一団地前



10 野川 梅の里

野川山下にあるスーパーから野川台に登る坂道右側の谷戸の斜面にウメ林が多くあり、地元の人は「梅の里」と親しんでいる。1～2月には、ロウバイや紅梅、白梅がふくよかな香りを漂わせる。

●所在地：野川3537付近

●交通：●山下



11 下有馬不動尊周辺のウメ

1～2月になると、アリーノ(有馬・野川生涯学習支援施設)の道を挟んで反対側上がった所、下有馬不動尊の南にある谷戸に40～50本もあるロウバイ・白梅・紅梅などが咲きそろう。

●所在地：東有馬3-8付近

●交通：●有馬第二団地前



12 有馬さくら公園のサクラ

公園の西斜面に数十本のソメイヨシノが広がっている。斜面一帯が4月上旬に満開となる様は圧巻。花見客でも賑わう。秋の紅葉の頃もまた楽しめる。

●所在地：有馬9-6

●交通：●鷺沼駅



13 東有馬のハナミズキ

樹齢30年を越えるハナミズキ・チェロキーが毎年4月下旬頃、紅色の美しい花を咲かせている。ほかにピンクのジュニアミス、白色の花をつけるクラウドナインやレインボーなどのいろいろなハナミズキが植えられていて、道行く人の目を楽しませている。

●所在地：東有馬1-15

●交通：●有馬第二団地前



14 つげ・もみじの里

下有馬不動尊を経て、東有馬1丁目付近には住宅街の中に植木畑が点在する。ここはつげやもみじが有名で、1年中鑑賞できる。新緑の頃は特に美しい。

●所在地：東有馬1-12

●交通：●有馬第二団地前



野川の葉 ボタン





15 野川のケヤキとトチノキの並木

～住宅街を抜ける緑豊かな並木道～

国道246号の「野川団地入口」の標識を入ってなだらかな坂を上がり、スーパーと宮前休日急患診療所を過ぎたあたりから両側は閑静な住宅街。最初はケヤキ、野川第1公園あたりはトチノキ、そして野川第2公園からは再びケヤキ並木となる。右側に権六谷戸（ごんろくやと）を見ながら坂を下り野川小学校の前を過ぎ、並木は尻手黒川道路まで続く。

ケヤキ並木は、春の新緑、夏の緑陰、秋の紅葉と住民に潤いを与えてくれる。トチノキも春になると黄色がかった白い花をつけ、閑静な住宅街を一層際立たせてくれる。

●所在地：野川台近辺

●交通：●野川団地入口



ケヤキ並木



トチノキ並木

16 有馬のトウカエデ並木

～華やかな秋の道～

有馬6丁目から有馬小学校、有馬中学校、有馬8丁目の有馬ふるさと公園にかけてのトウカエデの並木道。秋には、黄色から橙（だいだい）と色とりどりに紅葉して街並みに華やかさを与えてくれる。

●所在地：有馬6～8丁目

●交通：●神明社前



17 中有馬のユリノキ並木

～住宅街に安らぎを～



中有馬の交差点から、南は市境まで、北は有馬つつじ公園までのユリノキの並木道。春から夏には大きな葉の緑陰が涼を与え、秋には黄褐色に紅葉して行く人の目を楽し

ませてくれる。幹の太い並木は時を感じさせ、両側の住宅街に安らぎを与えている。

●所在地：有馬5丁目付近

●交通：●中有馬

18 影向寺(ようこうじ)

本尊 天台宗 威徳山 薬師如来

● 祭礼 薬師様(11月3日)(ご縁日)聖徳太子祭
除夜の鐘打大会(12月31日)、落懸見会
(8月5日)、(真年春)稲毛七葉師御開帳
(百年春)百年地蔵御開帳

多摩川の広大な沖積低地を望む野川の標高およそ40mの高台に、天台宗のこの寺はある。稲毛薬師威徳山「影向寺」。天平12(740)年に聖武天皇の勅命を受けた高僧・行基によって創建された。当時は、医徳山月光院栄興寺と呼ばれていたが、後に養光寺と改め、さらに影向寺と改名されたと伝えられる。近年、本寺の寺域が発掘され、出土瓦の様式から、創建は奈良時代以前にまでさかのぼると考えられている。

本尊である薬師如来像は国の重要文化財に、また、本堂の薬師堂は神奈川県指定文化財、太子堂の木造聖徳太子像は川崎市の文化財に指定されるなど、数々の重要文化財があり、関東屈指の古刹(こさつ)として知られ、1200年を超える川崎市最古の寺院である。薬師如来像や聖徳太子像などの仏像は正月と御縁日(11月3日)の他、お彼岸などにも御開帳される。ここには、寺のいわれとなった磐石の影向石を始め、境内本堂前の左右にはサルスペリの古木、また、右奥には樹齢約700年の「乳イチョウ」と呼ばれる大木がある。住職の話によると、「このお寺は、いにしへの教育と文化、医療のセンターだった。戦国時代には、武将の宿泊所として使用されるなど、出城の役目も兼ねていた」という。



薬師堂

薬師堂内に入ると、正面の「眼病平癒」の文字が目を引き。昔の人々は明かりが乏しく、燃料のマキの煙で目を患う人が多かったという。影向寺への参拝で眼病が治り、そのお礼に奉納された絵馬が、数多く掲げられている。また除夜の鐘は希望者が撞(つ)くことが出来る。影向寺は、古代のロマンに誘い、夢と癒しを与えてくれる、宮前区ばかりか川崎市に至宝である。

●所在地：野川419

●交通：●影向寺



影向石

19 能満寺(高津区)

本尊 天台宗 皇王山 虚空像菩薩(ぼさつ)

皇王山寶(ほう)蔵院と称する天台宗のお寺で、行基菩薩によって創建されたという。本尊の虚空像菩薩には、明徳元(1390)年の銘がある。午(うま)年にご開帳される聖観音像は千年の十字路そばにあった岩川村の長命寺・観音堂の本尊で、川崎市内最古の平安仏として知られている。能満寺バス停から、「能満寺→影向寺→野川神社」と、ちばなの散歩道を愉(たの)しむことができる。

●所在地：高津区千年354 ●交通：●能満寺





20 野川神明社(韋駄天社)

祭神 天照大神(あまてらすおおみかみ)
韋駄天神(いだてんそんじん)ほか

祭礼 例大祭(体育の日の前日・前夜)

古くは韋駄天社であったが、神明社と合祀(ごうし)して明治3(1870)年に野川神明社となった。本殿に祀(まつ)られている木造の韋駄天神像は、寛文12(1672)年に作られたもので、韋駄天は俊足の神様で、「韋駄天走り」の語源となった。最近では「走りのパワースポット」として、遠方からも祈願や御守・絵馬の授受にお参りする方も多い。10月の例大祭は神輿(みこし)や露店、演芸などで、境内がにぎわう。本殿は平成13年に改築された。

●所在地:野川463

●交通:野川



21 西蔵寺

本尊 天台宗聚海山 観世音菩薩(ぼさつ)

祭礼 お施餓鬼(8月10日)

天台宗聚海山西蔵寺。創建は記録によると天平21(749)年、開祖は行基菩薩で1200年以上前になる。盛衰を経て、この寺が菩提(ぼだい)寺(供養寺)になったのは、寛文3(1663)年のころとの言い伝えがある。本尊像は伝運慶作で、12年に一度午(うま)年に御開帳される。西蔵寺は、尻手黒川道路のバス停「野川小学校前」から坂道を上がった、常緑樹と竹林に囲まれた静かな住宅街

の中にある。門前の右手の庚申塔は、宮前区内では最古のもの。本殿などは平成11年に新築された。

●所在地:野川856

●交通:野川小学校前



22 長善寺

本尊 浄土真宗有間山 阿彌陀(あみだ)如来

行事 植木供養祭(3月下旬)

浄土真宗有間山長善寺。天正19(1591)年に、安立和尚27歳のときに創建したお寺で、400年以上の歴史がある。火事で全焼した本堂は、昭和49年に再建された。境内の竹林が、静寂なたたずまいをいっそう風情あるものになっている。季節ごとに、サザンカやフヨウ、ポタンなどの花が咲き、春のお彼岸のあとには、宮前苗木植木生産組合の人々によって、植木の供養祭が開催される。長善寺には鯉(こい)の泳ぐ池や植木供養塔などがあり、広い境内はゆっくりと散策を楽しむことができる。

●所在地:東有馬5-11-1

●交通:下有馬



23 下有馬不動尊

本尊 不動明王

祭礼 護摩炊きの餅(4月、7月)

不動尊の前身は在間(有馬)西明寺にあったとされ、仏道を修行する修験者の靈験あらたかなお寺として信仰を集めていた。だが、二度の大地震を経て倒壊したままの状態が続き、西明寺が小杉御殿町(中原区)に移転したあとも、本尊の不動明王は有馬に残り、地元住民が建てた小さな祠(ほこら)に安置されたという。

この不動尊は、1~2月にかけて深紅の花が咲くツバキで知られている。数本あるうちの1本は、ツバキの原種の「ヤブツバキ」だ。境内の裏側にある階段を下ると、江戸時代の村人たちの水垢離場(みずごりば)の脇に、石造りの白い不動明王が立っている。山道をさらに進んで南面丘陵を下ると、梅林があり、1~2月には紅梅や白梅、ロウバイが咲き、大勢の見物客でにぎわう。

●所在地:東有馬3-7-1

●交通:有馬第二団地前



24 有馬神明神社

祭神 天照大神(あまてらすおおみかみ)

祭礼 例大祭(10月第1日曜日)

金鳳製の白い手すりの付いた傾斜の急な48段の石段を上ると、正面に平成14年9月に改築された本殿が見える。創建年代は不詳だが、文政6(1823)年以前と推定されている。現在の神社について「新編武蔵風土記稿」には、「当時の有馬村に神明神社2社と杉山神社

があったが、明治43年に合併された」と記されている。本殿の左側の参集殿の裏側からは、有馬の住宅街や有馬ふるさと公園を望むことが出来る。石段に通じる鳥居の右側に、ケヤキの保存樹木と地藏尊(子育て地藏)がある。

●所在地:有馬5-13-24

●交通:神明社前



25 福王寺

本尊 臨済宗寿栄山 十一面観音

古くからあるお寺で、準西国稻毛三十三ヶ所観音霊場の一つである。本堂には十一面観音が安置され、12年に一度、午(うま)の年に御開帳される。「新編武蔵風土記稿」によれば、「慶長7年開山僧没す」とあるだけで、開山の時期や僧の名前などは不明。ここには、鎌倉・室町時代の武士階級だけが卒塔婆(そとうぼ)や五輪塔を簡略化して建てたとされる。板碑(いたび)がたくさん残っている。建武4(1337)年と年号の彫られた周辺地域最大級の板碑があることで知られる。階段の下の旧道はかつては馬車が走っていたという。

●所在地:有馬5-14-22 ●交通:三田橋



26 JR梶ヶ谷貨物ターミナル駅

～全国ネットワークの鉄道輸送～

JR梶ヶ谷貨物ターミナル駅は、昭和51年3月1日に武蔵野線に開通した。武蔵野線は、千葉東・西船橋駅から東京都・府中本町駅までは旅客も運ぶが、そこから先は貨物専用の貨物線である。貨物線は約8割が地下路線で、梶ヶ谷で顔を出し、梶ヶ谷貨物ターミナル駅がある。

この貨物線は、川崎市北部の区民にとって大変重要な役割を担っている。それは、区民の皆さんから出される生活廃棄物を貨物列車で浮島処理センターまで輸送しているからである。この輸送は、「時間に正確で、環境に優しい」ことから、平成7年に全国初の一般廃棄物の鉄道輸送システムとして、川崎市とJR貨物の協働により導入された。現在では1日約250t(4tトラック約82台分)の一般ごみ、焼却灰、ミックスペーパー、プラスチック製容器包装が、専用コンテナ「クリーン川崎号」で運ばれており、自動車排ガスの軽減など、年間157tのCO₂削減に寄与している。



JR梶ヶ谷貨物ターミナル駅の敷地は約16万㎡で、東京ドーム約3.5倍の広さ。北は北海道から南は九州まで、全国に荷物を運ぶことができる。駅員が日々、貨車の入換、荷物の受付、コンテナの積み卸しや線路のポイント切り替えなどを行っている。

- 所在地：野川140
- 交通：野川中里

27 JR梶ヶ谷貨物ターミナル駅下のトンネルアート

～トンネルアートで明るいまちづくり～

梶ヶ谷で顔を出す貨物専用の貨物線・JR武蔵野線の梶ヶ谷貨物ターミナル駅。その高架線の下には、尻手黒川道路側から梶ヶ谷や野川に抜けるため、3本の架道橋がある。その3本のうち、第一梶ヶ谷架道橋下のトンネルは短い、第二、第三梶ヶ谷架道橋下のトンネルは100m以上と長い。そこで、防犯環境の向上と「安心安全のまちづくり」を推進するため、地域有志と関係機関が協力して、トンネル内をより明るくしようと、トンネルアートの制作が計画された。その第二梶ヶ谷架道橋下のトンネル内の両側に2007年8月10日、トンネルアート「みやまえ水族館」が完成した。野川中学校の生徒800人が連日の猛暑の最中、制作した。



トンネルアート「みやまえ水族館」

トンネルアートの大きさは、縦2.5m、横190m。トンネルの両側に2面の壁画。

- 所在地：野川140 ●交通：西福寺前
- 翌年2008年8月2日～4日には、第三梶ヶ谷架道橋下のトンネルに、「空～かわさきの空～」が制作された。宮崎中学校と梶ヶ谷小学校の生徒が制作。



トンネルアート「空～かわさきの空～」

- 所在地：野川140 ●交通：金山

28 子育て地藏



影向寺台へ上がる坂道の左側に小さな祠(ほこら)がある。昔、巡礼が旅の途中にここで行き倒れとなり、村人が地藏尊を作って祀(まつ)ったと伝えられている。

- 所在地：野川343
- 交通：上野川

29 十三坊塚

権六谷戸と有馬川に挟まれた南野川の台地にある。「新編武蔵風土記稿」には、昔ここに13の塚があったと記載。現在では、県営野川南台団地の南西部にあるが、周辺の宅地化が進み、現在では1つが残るのみ。

- 所在地：野川2344 ●交通：久末



30 有馬大塚



「新編武蔵風土記稿」に記述がある古墳。境界に作られた塚あるいは一里塚などとも言われるが、詳細は不明。県営有馬団地の東南に位置する、こもりした小山。赤い鳥居をくぐって小山を登ると頂上に赤い祠(ほこら)がある。

- 所在地：東有馬5丁目付近
- 交通：稲荷坂

31 アリーノ (有馬・野川生涯学習支援施設)

地域における市民の主体的な学習を支援することにより、生涯学習の振興を図り、個性豊かで活力に満ちた地域社会づくりに寄与するための施設である。市民活動支援コーナー内のフリースペースは、毎日開放されている。



- 所在地：東有馬4-6-1
- 問合せ：☎853-3737
- 交通：有馬第二団地前

32 宮山スポーツプラザ

市内初の本格的な私設体育館。貸し館や各種教室を通して、スポーツを身近に楽しむことができる。地域コミュニティの形成や地域福祉に貢献することを目指している。



- 所在地：野川10-1
- 問合せ：☎788-2525
- 交通：山上下

33 宮前休日急患診療所

日曜日・祝日・年末年始(12/30～1/4)に、区内の当番医が、急病人の診断・診療に当たる。

- + 診療科目 内科・小児科
- + 受付時間 9:00～11:30、13:00～16:00 (診療は10:00～)

- 所在地：東有馬2-13-3
- 問合せ：☎853-2133
- 交通：宮前休日診療所(無料駐車場あり)



有馬・野川エリア

たちばなの里・野川コース 約4.3km

1.9km 0.9km 1.6km

能満寺バス停 上野川橋 野川第2公園 和野川橋 和野川橋下

コース区間距離

歴史と伝説の地を歩く

能満寺参道脇の石造物群を見ながら、影向寺の塔頭(たっちゅう)である能満寺の山門をくぐる。名刹(めいさつ)影向寺をはじめ、野川神社、巡拝塔、西蔵寺などを探訪し、上野川橋で矢上川を渡る。野川小学校を右に見て、道なりに、なだらかな坂を登って野川台へ。野川第2公園付近から権六谷戸を展望する。台地から坂を下り、緑地が狭く谷戸を縦断し、再び台地上がり、尾根道に合流。尾根道を左折し、ややあって右折、急坂を下って、和野川橋に至り、すぐに県道久末麓沼線にぶつかる。ここでゴール。



野川第2公園から権六谷戸を眺望

野川老人いごいの家

落武者の一行がたかくれ住んでいたが、道中に襲われ1人を強いて討死した。助かった武士は権六と名を変え、死者を弔いながら余生を送ったという。



権六谷戸の庚申塔



庚申塔、之には「源田幸命」古には「御前神社」の奥札がある



西蔵寺の市内最古の庚申塔

天平12年(740)、聖武天皇の勅命で行基菩薩が創建したと伝える古刹。影内石の次にたまった水が薬病に効能あるとして信仰された。



能満寺石造物群

宮前区内にある石造物の

豆知識

- 霊柩(いたび)** 鎌倉時代に発生したもので、死者の供養に用いられた宝篋(きょう)・日塔や五輪塔より手短であることから武士たちに好まれた。有馬の権王寺にある板碑は寛政4(1337)年銘が刻まれ、区内174基のうち最大のもの。
- 馬(ばとう)** 馬は農耕をはじめ貨物の運搬に大きな働きをした。馬が亡くなると、その馬が日ごろ馴染(なじ)んだ場所(石塔を建てて)まつられた。俵の類に馬の頭を彫ったものや、「馬頭観音」と記したものがあ。区内には35基が確認されている。
- 地神(じじん)** 春分・秋分に近い日(つちのえ)の日は土を動かさない禁忌の習慣があった。この日は農家の神である地神様に農作を祈願する事が行われた。区内には8基ある。
- 地蔵等** 地蔵等は、子どもの成長や村の安全を見守ると言われ、区内には子育て地蔵もある。
- 二十三夜塔** 二十三夜(月の出)を持ち、五穀豊穡や子孫繁栄を祈願した。区内には3基あるが、いずれも「二十三夜」の文字が刻まれている。

- 霊柩** 「みちしるべ」とも呼ばれ、道案内に用いられたものである。商人の往来が多くなる元禄時代から増え始めるが、神社参りや教育が盛んになる文化文政時代には、庚申塔や馬頭観音なども兼ねたものが現れる。
- 巡拝(じゅんぱい)** 雑草、逆札を終えたあと記念して建てたもので、その多くは西国・秩父・近畿の計百ヶ所の観音霊場巡礼のものである。遠くは、出羽三山・四国八十八ヶ所の記念塔もある。
- 供養塔** 権木供養塔は、有馬の長壽寺境内にある。供養塔は宮前区の農家生産組合が建てたもので、毎年、3月の彼岸過ぎに供養祭を行っている。花供養塔は、泉福寺境内に馬場花生産組合が建てたものである。毎年、8月17日に花供養が行われる。
- 道祖神(どうそじん)** 道の要害や村の入口などに建てられるもので道中の安全や、村内を悪魔から守る神であった。区内の平には「土祖大神」と刻んだ道祖神があり、1月15日には、この前で「どんと祭り」が行われる。
- 豊稔(とかげそん)** 豊稔が盛んな地方で信仰された豊稔の神。県下一円では、天保5年に始まった日米修好通商条約後、外国に輸出する代表的な商品として豊稔が盛んになった。宮前区では明治時代から大正時代にかけて盛んになった。豊稔等は恐らく、土俵神社に1基建てられている。

川崎、宮前の農産物

～かわさきそだち～



かわさき地産地消推進協議会

川崎市には、かわさき農産物ブランド品「かわさきそだち」としてPRしているものがある。それぞれが地産地消の主力を務めて、農業まつりや品評会が開かれている。

野菜の部

宮前のブロッコリー

害虫の防除に、性フェロモン剤を利用することによって、直接植物に散布する農薬の使用回数を減らす栽培に取り組んでいる。



宮前のブロッコリー



宮前のトマト

宮前のトマト

施設では桃太郎系の品種が、露地では様々な品種が栽培されている。いずれも完熟で収穫するため、食味は良好で、市場出荷、契約栽培として出回っている。

宮前のだいこん

葉つきで出荷されるものはほとんどないが、葉つきは直売で買える楽しみがある。



宮前のだいこん



ほうれん草・小松菜

ほうれん草・小松菜

朝取りが特徴で、直売で買ったものは、採れたその日のうちに食べることができる。

果実の部



梨

梨

市内で生産されたナシは「多摩川梨」と呼ばれ、栽培は歴史が古く、江戸時代の初期から栽培されている記録がある。現在は様々な品種が栽培されている。

宮前メロン

昭和52年より栽培を始め、昭和57年の分区により「宮前メロン」と名称を変えた。アールスメロンで、マスクメロンと呼ばれ、網目の美しい外観と、上品な香り、ねっとりした食感と甘さが特徴で、贈答用として人気がある。



宮前メロン

花卉(かき)の部



馬絹の花桃

馬絹の花桃

馬絹での花栽培の歴史は古く江戸中期にさかのぼる。枝物の荷造り「枝折(しおり)技術」は関東屈指とされ、枝折(しお)った枝物の荷姿は非常に美しく芸術品といえ、マイスターの方もいる。

馬絹の小菊

古い伝統と、篤農家の研究により、品質の良い露地物の小菊が栽培され、高い評価を受けている。



馬絹の小菊



シクラメン

シクラメン

種蒔(ま)きから約1年かけて栽培され、主に直売され、買った後の管理まで丁寧に教えてもらえ、花の期間を長く楽しめる。

連絡先

区役所など		
宮前区役所	宮前平2-20-5	856-3113
向丘出張所	平1-1-10	866-6461
鷺沼行政サービスコーナー	鷺沼3-2-1	852-8471
宮前区役所道路公園センター	有馬2-6-4	877-1661
こみ・水道・下水		
宮前生活環境事務所	宮崎172	866-9131
西部下水道管理事務所	有馬1-21-6	852-5131
鷺沼ひれあい広場	土橋3-1-7	866-0380
救急指定の病院・休日急患診療所・医療情報センター		
有馬病院	有馬3-10-7	866-3315
聖マリアンナ医科大学病院	養生2-16-1	977-8111
宮前休日急患診療所	東有馬2-13-3	853-2133
川崎市救急医療情報センター	—	739-1919
警察・消防		
宮前警察署	宮前平2-19-11	853-0110
宮前消防署	宮前平2-20-4	852-0119
小学校		
野川小学校	野川1209	766-2069
南野川小学校	野川12004	788-6500
西野川小学校	野川13142-2	766-5677
有馬小学校	東有馬5-12-1	866-1447
西有馬小学校	有馬7-6-1	855-7911
鷺沼小学校	鷺沼2-1	854-2783
土橋小学校	土橋3-1-11	865-1535
富士見台小学校	宮前平2-18-3	888-0189
宮前平小学校	宮前平3-14-1	853-0466
大蔵小学校	大蔵1-3-1	976-1820
神原小学校	水沢3-7-1	976-4557
養生小学校	養生1-5-1	977-0953
向丘小学校	平1-6-1	866-7060
平小学校	平0-5-1	866-7235
白樺台小学校	南平13-1	977-8220
宮崎台小学校	宮崎3-18-2	855-2410
宮崎小学校	馬絹1795	866-2219
中学校・高等学校		
野川中学校	野川13142-1	766-3821
有馬中学校	有馬7-7-1	855-7913
宮前平中学校	宮前平2-7	855-3214
大蔵中学校	大蔵1-10-1	977-0604

養生中学校	養生2-10-1	977-6767
平中学校	平3-15-1	976-3606
向丘中学校	神木本町5-11-1	866-2875
宮崎中学校	宮崎107	877-2001
県立川崎北高等学校	有馬3-22-1	855-2631
文化・スポーツ施設		
宮前市民館	宮前平2-20-4 (宮前文化センター内)	888-3911
宮前図書館	—	888-3918
宮前市民館養生分館	養生5-4-11	977-4781
宮前地区会館	馬絹6-10-33	866-6360
宮前スポーツセンター	大蔵1-10-3	976-6350
アリーノ(有馬・野川児童学童センター)	東有馬4-6-1	853-3737

ふれあいネット

川崎市の公共施設をコンピュータ・ネットワークで結び、予約や抽選による施設の利用申込み、空き情報の確認、取り消しの届け出などを行うサービス。利用には、利用者登録が必要。宮前区では、区役所と市民館、養生分館、道路公園センター、宮前スポーツセンター、アリーノで受け付けている。

ふれあいネット運用センター
044-741-3345

受付時間 午前8時30分～午後9時30分
(年末年始を除く)

サンキューコールかわさき

市政に関する問い合わせや意見、相談などを受ける川崎市コンタクトセンター。

サンキューコールかわさき
044-200-3939

受付時間 午前8時～午後9時 年中無休

電話だけでなく、FAX、手紙、電子メールでも受け付けている。

FAX: 044-200-3900

手紙: 〒210-8577 川崎市川崎区宮本町1番地
「サンキューコールかわさき」

メール: www.contact.city.kawasaki.jp か5

あ	
アリーノ(有馬・野川生涯学習支援施設)...	67
有馬大塚	67
有馬川	12
有馬北コース【お散歩コース】	69
有馬こども公園	58
有馬さくら公園	58
有馬さくら公園のサクラ	61
有馬神明神社	65
有馬大正通り八木節	9
有馬中央公園	58
有馬のトウカエデ並木	62
有馬の八幡坂	10
有馬雛子(ありまはやし)	8
有馬ふるさと公園	58
い	
生田緑地	24
生田緑地南遊園	24
イチョウ並木	44
犬蔵・土橋コース【お散歩コース】	36
犬蔵天神社	29
お	
王禅寺道	11
大山街道	11
大山街道コース【お散歩コース】	50~51
大山講	54
おし沼線のケヤキ並木	26
お化け灯籠	49

か	
カッパーク鷺沼(鷺沼プール今昔)	41
鎌倉街道	11
川崎市消防訓練センター	31
川崎市青少年の家	49
川崎市中央卸売市場北部市場	31
かわさきそだち	72
川崎、宮前の農産物	72
く	
区の木	80
区のキャッチフレーズ	80
区のシンボルマーク	80
区の花	80
け	
けやき平のケヤキ並木	26
県立東高根森林公園	42
こ	
庚申坂	10
五所塚と稚児の松	33
子育て地蔵	67
小台公園	43
小台坂	10
小台のイロハカエデ	45
コミュニケーション・プラザ川崎	32
権六谷戸(ごんろくやと)	13
さ	
歳時記	22, 39, 57
西蔵寺	64

鷺沼駅(東急田園都市線)	40
鷺沼北公園	43
鷺沼公園	43
鷺沼谷(さぎぬまやと)	13
サクラ並木	44
し	
JR梶ヶ谷貨物ターミナル駅	66
JR梶ヶ谷貨物ターミナル駅下のトンネルアート	66
市境西コース【お散歩コース】	34
尻手黒川道路の並木道	26
神木公園	42
神木天満宮	47
市民健康の森【菅生緑地】	24
下有馬不動尊	65
下有馬不動尊周辺のウメ	60
秋月院	30
秋月院の樹木	27
十三坊塚	67
浄水場通り子ども大壁面	32
正福寺	46
白幡八幡大神	29
白幡八幡大神平雛子(はやし)連中	9
白幡八幡大神のクスノキ	27
す	
水生植物観賞池	28
数字で見る宮前区	20
菅生ヶ丘特別緑地	25

菅生こども文化センター	32
菅生神社	29
菅生太鼓連	33
菅生緑地(市民健康の森) 東地区・西地区(水沢の森)	24
せ	
聖マリアンナ医科大学病院	32
千手堂	47
泉福寺	45
泉福寺のイチョウ	45
泉福寺のサルスベリ	45
た	
平のケヤキ	27
平4丁目公園	25
たちばなの里・野川コース【お散歩コース】	70~71
ち	
地名の由来	9
長安寺	30
長善寺	64
つ	
つげ・もみじの里	61
土橋1丁目公園	43
土橋神社	46
土橋2丁目公園	43
土橋の八幡坂	10
土橋万作踊り	8
鶴ヶ谷(つるがやと)	13

て	
電車とバスの博物館	47
と	
等覚院	28
東急田園都市線3駅	40
東京寺	30
東名川崎IC付近の花壇	44
東名トンネルアート	32
とんもり・生田緑地コース【お散歩コース】	35
飛森谷戸(とんもりやと)	13
な	
中有馬のユリノキ並木	62
長尾・神木コース【お散歩コース】	53
ナンキンハゼ並木	44
ナンキンハゼの並木道 [尻手黒川道路の並木道]	26
南平のイチヨウ並木	26
に	
西長沢公園	25
西長沢浄水場	28
ね	
禰宜舞(ねぎまい)	8
の	
能満寺(高津区)	63
野川 梅の里	60
野川神明社(韋駄天社)	64
野川のケヤキとトチノキの並木	62
野川囃子(はやし)	8

野川ふれあいの森	59
は	
バス路線図	78~79
八幡神社	46
初山十王堂	33
初山団地の八重桜	27
初山の獅子舞(ししまい)	8
ひ	
東有馬2丁目のカキ	60
東有馬のハナミズキ	61
響け! みやまえ太鼓ミーティング	14
平瀬川	12
平瀬川上流域のサクラ	27
平瀬川沿いコース【お散歩コース】	35
ふ	
ファーマーズマーケットセラサモス宮前店	49
福王寺	65
ふれあいネット	73
フロントタウンさぎぬま	47
ほ	
本還寺(ほんのんじ)	30
ま	
馬絹コース【お散歩コース】	52
馬絹古墳	48
馬絹神社	45
まじわる宮前	49
み	
水沢の森[菅生緑地・西地区]	24

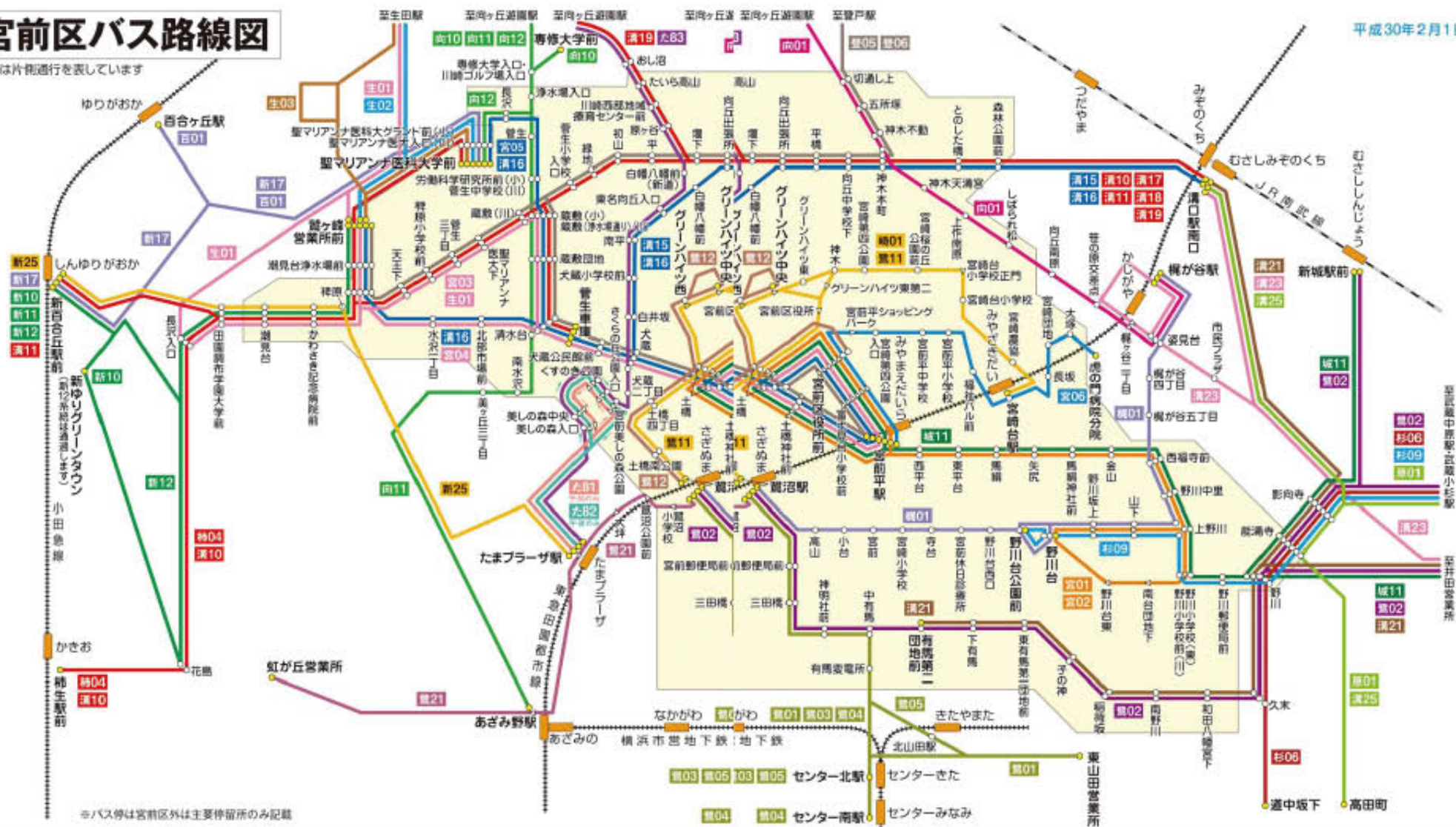
御嶽講	54
三又の庚申様	48
南野川ふれあいの森	59
峯道(みねみち)・有馬南コース 【お散歩コース】	68
宮崎大塚	49
宮崎小の壁画アート	48
宮崎第1公園	42
宮崎台駅(東急田園都市線)	40
宮崎第4公園	42
宮前美しの森公園	25
みやまえカルタ【コラム】	54
宮前休日急患診療所	67
宮前区全体地図	2~3
宮前区誕生30周年記念ロゴマーク・キャラクター	80
宮前区内にある石造物の豆知識【コラム】	71
宮前区について	4
宮前区のイベント	14~15
宮前区の街道	11
宮前区の川	12
宮前区の講【コラム】	54
宮前区の坂道	10
宮前区の民俗芸能	8~9
宮前区の谷戸(やと)	13
宮前区民祭	15
宮前市民館	48
宮前市民館菅生分館	32
宮前スポーツセンター	31

宮前平駅(東急田園都市線)	40
宮前図書館	48
宮前歴史ガイド	7
宮前老人福祉センター	49
宮山スポーツプラザ	67
妙楽寺(多摩区)	28
妙楽寺のアジサイ(多摩区)	28
や	
矢上川	12
葉王庵	30
葉王庵の咲き分けツバキ	27
八雲神社(天王社)	29
谷戸の語源【コラム】	13
ゆ	
ユリノキ並木	44
ユリノキ並木と遊歩道 [尻手黒川道路の並木道]	26
よ	
影向寺(ようごうじ)	63
影向寺のイチヨウ	59
影向寺のサルスベリ	60
ヨネッティー王禅寺(麻生区)	31
れ	
歴史のあるまち宮前	6
連絡先	73
わ	
鷲ヶ峰けやき公園	25
鷲ヶ峰子供の里公園	25

バス路線図

宮前区バス路線図

▷は片側通行を表しています



区のシンボルマーク

区制10周年を記念して、「個性豊かな、新しい都市生活文化を創造する区」を目指し、平成5年1月1日に制定。

宮前区のイニシャルMをハートの形にデザインし、ハートのブルーは「知性」、黒いだんは「力強い大地」を表す。区民の和と英知を結集し、未来へ飛躍する姿をイメージした。



区の木・区の花

平成10年度の「区イメージアップ事業」の一環として、宮前区の「区の木」「区の花」を平成11年2月1日に制定した。

区の木「サクラ」は、人々を呼び集めてコミュニケーションが活発になるイメージから選ばれた。区の花「コスモス」は、明るく可憐(かれん)な花と、コスモスという言葉の持つ、宇宙・世界的・国際的という意味が、宮前区の若々しく未来的なイメージに合うことから決まった。



区のキャッチフレーズ

～人が好き 緑が好き まちが好き～

区民の和を象徴する「人」、豊かな自然を象徴する「緑」、自然と区民の生活が調和する豊かな地域を象徴する「まち」をイメージし、平成6年1月1日に制定した。

宮前区誕生30周年記念

ロゴマーク・キャラクター

宮前区のイニシャル「M」をデザインし、青色は「発展を続ける若々しさ」、緑色は「豊かな自然や伝承文化」を表す。

30周年が区民のさらなる飛躍と連帯感を深める契機となることを願いメッセージが入れられた。平成23年12月27日制定。



宮前区誕生30周年

絆を深めてもっと大好きなまちへ

～宮前兄妹～

区制30周年を記念して、区民の一体感を高め区内外に広くPRするために、区名産の「宮前メロン」由来のキャラクターを平成23年12月27日に制定した。



メロー

コスミン

編集後記

このまちが、誰にとっても、大切なふるさととなりますように

この「宮前区ガイドブック」第6版は、区民が中心となって作成した第5版を基に更新を行ったものです。改訂にあたっては、区民の思いが詰まった第5版を大事にしたいという思いのもと、内容の変更は必要最小限にとどめ、第5版の改訂構想委員会の区民の方々のアドバイスをいただきながら、職員のワーキングメンバーで「お散歩コース」の確認などを行いました。第5版に込められた区民の思いを、第5版の「編集後記」をお借りして紹介します。

ガイドブック片手に出かけよう。そしてもっと宮前区を知って欲しい。こんなコンセプトの「宮前区ガイドブック」を区民が手作りするために、第5版ガイドブック改訂委員会はスタートした。しかしそれが2011年3月後半の東日本大震災直後とあっては、心が揺れる。このまま委員会活動を続けていいのかと。

それでもガイドブック制作ができる状況に感謝しつつ、総勢13人で協議・取材・編集すること、足掛け1年半。宮前区ガイドブック第5版は完成した。歴代の改訂委員会が築いたものをベースに、委員が実際に歩いて見聞きした最新情報(2012年春時点)を盛り込むことに努めた。特に「お散歩コース」や「自然」は、この数年で区内の状況が激変したため、全面的に見直した。

取材先をはじめ、いろいろな形でご協力いただいた方々に、この場を借りて感謝と敬意を表したい。ご協力、ありがとうございました。

出かけたくても出かけられない地域が被災地には存在する。そのことを胸の片隅に刻み、ぜひ区内を大いに散策して欲しい。その際このガイドブックが少しでも役立てば幸いである。

平成24(2012)年10月 宮前区ガイドブック改訂構想委員会 委員長・田中 佳奈子

まちの景色は少しずつ変わっていても、変わらないもの、大切にしたいものがある——
まちを知ることで、それに気がつくことができるかもしれない

写真提供

●小池 旺 ほか宮前区まちづくり協議会 フォトコンテスト応募作品より

表紙・裏表紙などの絵(7点)

●荒瀬俊治(けやき平在住)

表紙、P16～20のデザイン

●高橋弘幸(養生 在住)

第5版宮前区ガイドブック改訂構想委員会

- 荒瀬俊治(けやき平) ●及川甲子男(有馬) ●佐藤利枝(鷺沼) ●島田邦彦(宮崎) ●高橋弘幸(養生)
- 滝本久美(宮前平) ●竹内利雄(鷺沼) ●田中佳奈子(犬蔵) ●坪井麗(桐ヶ谷) ●中平龍二郎(小台)
- 丸山幸一(養生) ●三嶋聡夫(宮崎) ●山崎隆子(有馬)

事務局 宮前区役所 地域振興課

このほかにも、いろいろな方々に取材・写真提供などでご協力いただきました。ありがとうございました。



宮前区ガイドブック

平成10年 3月 初版
平成15年 3月改訂 第2版
平成18年 9月改訂 第3版
平成20年 7月改訂 第4版
平成24年10月改訂 第5版
平成30年 3月改訂 第6版

発行者: 宮前区役所 企画課
〒216-8570
宮前区宮前平2-20-5
TEL 044(856)3133 FAX 044(856)3119
デザイン・制作・印刷: 株式会社 井田印刷